

令和3年度 事業報告

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月 31日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会

目 次

はじめに		頁
会務報告		
1 会員数	-----	1
2 各種会議開催状況	-----	1
3 各種委員等就任状況	-----	4
4 会員の表彰	-----	10
5 会員の物故	-----	11
6 厚生労働省、日薬等の会議参加状況	-----	12
事業報告		
I 公益事業		
1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業	-----	15
2 児童・生徒等に関する事業	-----	19
3 医薬品適正使用に関する事業	-----	22
4 医療安全に関する事業	-----	28
5 公衆衛生に関する事業	-----	30
6 地域医療に関する事業	-----	32
7 災害時医療救護活動に関する事業	-----	38
II 法人組織運営に関すること		
(1) 総会、理事会等開催など	-----	40
(2) 組織強化と財務の健全化	-----	40
(3) 会員管理	-----	40
III 共益事業		
(1) 薬剤師の生涯学習の推進	-----	42
(2) リスクマネジメント等事業	-----	48
(3) 広報事業	-----	50
(4) 会員に向けた各種支援	-----	52
IV 収益事業		
(1) 会議室等賃貸事業	-----	53
(2) 書籍等販売事業	-----	53
その他		
・神奈川県薬剤師研修協議会事業	-----	56
・地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業	-----	56
参考資料		
令和3年度神奈川県薬剤師会事業計画	-----	57
令和3年度事業体系図	-----	59
令和3年度神奈川県薬剤師会各種委員会委員一覧	-----	60
令和3年度神奈川県薬剤師会組織図	-----	61

はじめに

令和2年1月に国内初の新型コロナウイルス感染者が確認されてから、すでに2年以上が経過しました。この間、新たなワクチンや治療薬が開発され、また、国民の感染症予防に対する意識や日常の生活様式も大きく変わってきました。しかしながら、現時点ではまだ新型コロナウイルス感染症の確実な収束を見通すことができる状態には至っていません。

このことは本会の運営にも多大な影響を及ぼしており、会務運営をはじめ様々な事業実施方法にも変更を余儀なくされています。しかし、そのような状況下でも、本会は公益社団法人として、薬剤師職能の向上並びに薬学・薬業の進歩発展を図ることを通じ、県民の健康増進、福祉、保健衛生及び地域医療の向上に寄与するという使命・役割を果たすべく、様々な工夫を凝らしながら各種事業を推進してまいりました。

令和3年度におきましては、新型コロナウイルスの県内感染状況を勘案し、「くすりと健康すこやかフェア」など対面型のイベント系事業の一部を中止した一方で、神奈川県病院薬剤師会との共催事業である「かながわ薬剤師学術大会」をはじめ、多くの事業や研修会、会議をweb形式で実施し、一定の成果を上げました。さらに、感染状況が落ち着いた時期には、一部の研修やワークショップなどを通常開催しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、国や県などの取組に積極的に協力し、地域薬剤師会のご協力も賜りながら、年末年始等の調剤に応じていただけるよう会員薬局へ働きかけを行うとともに、本人の求めに応じて電話等による服薬指導と自宅等への薬剤の配送を行う「薬局における薬剤交付支援事業」を実施した1,539の薬局に対して支援を行いました。さらに他団体が実施する新型コロナワクチン職域接種への薬剤師派遣も行いました。

こうした中、医薬品医療機器等法の改正により、住み慣れた地域で住民が安心して医薬品を使うことができるよう、薬剤師が、調剤時に限らず必要に応じて薬剤の使用状況の把握や服薬指導を行う義務が法制化されたことなどから、本会が独自に取り組んできた「くすりと健康相談薬局」の機能が益々重要性を増しています。本事業については、令和3年度は新規21件、更新114件、合計135件認定し、合計で262薬局となり、着実に成果を上げました。

これらの事業を企画検討し、推進する核となっている各種委員会活動については、新型コロナウイルス感染リスクを抑制するため、web形式の併用による会議やメールなどによる通信手段を駆使し、概ね予定どおり開催し、事業の展開に支障が生じないよう努めました。

また、会務を運営するための意思決定等を行う総会、理事会等についても、web形式の併用などにより開催し、本会を運営するための重要事項について決定するとともに、本会の円滑な運営に向けてその役割を果たしました。

こうした取組を通じ、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を克服しながら、各種事業を実施し、公益目的事業比率は70.1%を確保し、公益社団法人としての使命を果たしました。

会 務 報 告

1 会員数 (令和4年3月31日現在)

	第1種会員	2,350人	(対前年 30人減)
会員総数 4,061人	第2種会員	1,428人	(対前年 61人減)
(対前年 114人減)	第3種会員	44人	(対前年 5人減)
	賛助会員	229人	(対前年 17人減)
	名誉・有功会員	10人	(対前年 1人減)

〈P14 参照〉

2 各種会議開催状況

(1) 総 会 2回

①通常総会

- ・開催日時 令和3年6月20日(日) 13:00～15:28
- ・開催場所 総合薬事保健センター 1階多目的ホール
- ・代議員総数 75名(定数)
- ・出席者数 出席者 73名 内訳 出席 56名
委任状 4名
書面表決 13名
- ・報告事項 報告第1号 令和2年度事業報告について
報告第2号 日本薬剤師会第97回臨時総会について
- ・審議事項 議案第1号 令和2年度決算の承認について
賛成多数により原案どおり承認された。
議案第2号 令和3年度補正予算について
賛成多数により原案どおり承認された。
議案第3号 理事の選任について
議案第4号 監事の選任について
理事及び監事の候補者数が定数を超えないため、候補者をもって当選者とすることが賛成多数により決議され、選任された。

②臨時総会

- ・開催日時 令和4年3月13日(日) 13:00～14:44
- ・開催場所 総合薬事保健センター 1階多目的ホール
- ・代議員総数 68名(定数)
- ・出席者数 出席者66名 内訳 出席 58名
委任状 3名
書面表決 5名

- ・審議事項 議案第1号 令和4年度事業計画について
賛成多数により原案どおり可決された。
- 議案第2号 令和4年度収支予算について
賛成多数により原案どおり可決された。
- 議案第3号 令和4年度借入金最高限度額について
賛成多数により原案どおり可決された。
- 議案第4号 名誉会員の承認について
賛成多数により原案どおり承認された。

(2) 理事会 7回 (5/20、6/20、7/1、9/30、11/4、12/16、1/27)

(3) 常務理事会 24回 (4/1、4/22、5/13、5/27、6/3、6/17、7/1、7/15、8/5
8/19、9/2、9/16、10/7、10/28、11/4、11/18、12/2、
12/16、1/6、1/20、2/3、2/24、3/3、3/17)

(4) 監査会 2回 (5/17、11/16)

(5) 地域・職域薬剤師会 会長協議会 6回 (臨時含む)

開催	講演内容等
第1回 (4/15)	●講演：改正薬機法令和3年8月施行について ～地域連携薬局・専門医療機関連携薬局の認定制度など～ 講師 磯部総一郎氏（日本薬剤師会専務理事） ●講演：令和3年度介護報酬改定の主な事項について 講師 藤本直樹氏（医療・介護保険委員会）
第2回 (7/29)	●講演：神奈川県薬剤師会における今後の事業展開について 講師 小川護（神奈川県薬剤師会会長） ●意見交換会 新型コロナウイルスワクチン集団接種について
臨時 (9/6)	●情報交換会 新型コロナウイルス感染症自宅・宿泊療養者に対する医薬品供給について
第3回 (11/11)	●意見交換会 ワクチン接種及び自宅療養における行政・医師会等との連携に係る現状と課題について

開催	講演内容等
臨時 (12/10)	●情報交換会 新型コロナウイルス感染症経口治療薬の拠点薬局について 年末年始の調剤応需体制について ワクチン検査・パッケージについて
第4回 (3/17)	●講演：令和4年度調剤報酬改定について 講師 小川護氏（日本薬剤師会医療保険委員会委員長）

(6) 委員会

- ①総務委員会（令和3年6月迄） 1回（5/12）
 - 組織会員委員会（令和3年7月～） 3回（8/20、10/15、1/19）
 - 会員関係小委員会（令和3年7月～） 2回（12/8、2/18）
 - 災害関係小委員会（令和3年7月～） 2回（12/1、3/8）
- ②広報出版委員会（令和3年6月迄） 1回（5/26）
 - 広報委員会（令和3年7月～） 4回（8/25、10/20、12/8、3/9）
 - 薬壺編集委員会（令和3年7月～） 5回（7/28、9/29、11/24、1/26、3/30）
- ③生涯学習委員会 3回（7/26、10/18、1/13）
 - ・研修企画・運営小委員会 5回（9/14、10/12、11/12、12/17、2/14）
 - ・認定薬剤師認定小委員会 9回（4/20、8/19、9/22、10/20、11/18、12/13、1/17、2/14、3/14）
 - ・外部評価小委員会 1回（6/2）
- ④医療・介護保険委員会 4回（6/3、8/4、10/14、3/10）
 - ・在宅小委員会 1回（10/13）
 - ・調剤業務適正小委員会 0回
- ⑤公衆衛生・学薬委員会 5回（4/28、9/9、10/6、12/15、3/16）
 - ・小委員会 2回（4/10、4/17）
- ⑥地域保健委員会 5回（5/14、8/20、10/29、1/14、3/11）
- ⑦リスクマネジメント委員会 4回（6/17、7/15、9/16、2/3）
 - ・リスク対策小委員会 2回（9/3、1/25）
 - ・薬局コンプライアンス小委員会 2回（9/3、1/7）
 - ・薬局プレアボイド小委員会 2回（9/3、1/26）
 - ・リスクマネジメント小委員長会 2回（4/14、8/6）
- ⑧倫理研修委員会 3回（7/27、11/2、1/25）
- ⑨学術大会実行委員会 3回（8/2 県薬単独、10/5 合同、11/1 合同）

⑩実務実習委員会	4回（7/28、9/16、12/9、2/2）
・アドバンスワークショップ検討会	0回
⑪代議員選挙管理委員会（書類審査含む）	2回（6/3、8/19）
⑫総会議事運営委員会	2回（4/22、1/20）
⑬役員選挙管理委員会（書類審査含む）	2回（4/8、6/4）
⑭医薬品適正使用検討委員会	0回
⑮災害対策検討委員会（令和3年6月迄）	1回（5/17）
⑯くすりと健康相談薬局運営協議会	4回（4/1、8/5、10/7、2/3）
⑰くすりと健康すこやかフェア実行委員会	0回

（7）その他会議

- ①正副会長会 15回（4/1、5/13、6/3、6/17、6/24、7/1、8/5、9/2、10/7、11/4、11/18
12/16、1/6、2/3、3/17）
- ②春秋会 中止
- ③新しい薬局・薬剤師のあり方検討WG 0回
- ④倫理審査会 6回（書面審査）
- ⑤各種委員会委員長会議 2回（10/28、2/24）
- ⑥県健康医療局との連絡会 1回（3/3）
- ⑦県薬務課との連絡会 0回
- ⑧神奈川県薬事総合保健センター入居団体会議 1回（10/6）
- ⑨日薬委員との意見交換会 中止
- ⑩会長賞等選考審査会 1回（12/2）
- ⑪神奈川薬業協議会 1回（12/2）

3 各種委員等就任状況

《公的委員》

（令和4年3月31日現在）

No	審議会等名	委員	役職名	任命権者	関係部署
1	関東信越地方社会保険医療協議会神奈川部会 〈R03.6.20迄〉 〈R03.6.21〜〉	鵜飼会長 小川会長	臨時委員	局長	関東信越厚生局
2	県医療審議会 〈R03.6.20迄〉 〈R03.6.21〜〉	鵜飼会長 小川会長	委員	知事	医療課
3	県薬事審議会 〈R03.6.20迄〉 〈R03.6.21〜〉	鵜飼会長 小川会長	副会長	知事	薬務課
4	県薬事審議会 薬物評価検討部会 〈R03.6.20迄〉 〈R03.6.21〜〉	鵜飼会長 小川会長	会長	知事	薬務課
5	県自然環境保全審議会温泉部会	夏目理事	委員	知事	生活衛生課

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命 権者	関係部署
6	県医療通訳派遣システム事業運営委員会	伊藤常務	委員	知事	国際課
7	かながわ地球環境保全推進会議	中山センター長	監事	知事	環境計画課
8	かながわ地球環境保全推進会議（県民部会）	石渡理事	推進委員	知事	環境計画課
9	県保健医療計画推進会議	橋本副会長	委員	知事	医療課
10	県保健医療計画推進会議 糖尿病連携検討部会	唐澤理事	委員	知事	医療課
11	県医療安全推進協議会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21～〉	橋本副会長 後藤副会長	委員	知事	医療課
12	県医療安全対策事業実行委員会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21～〉	橋本副会長 後藤副会長	委員	知事	医療課
13	県医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議	泉理事	委員	知事	医療課
14	県地域医療介護連携ネットワーク構築検討会議	後藤副会長	委員	知事	医療課
15	県外国人医療推進検討会議	伊藤常務	委員	知事	医療課
16	県災害医療対策会議	後藤副会長	委員	知事	医療危機対策本部室
17	県災害医療対策会議 災害時医療救護対策部会 （医療救護体制部会）	後藤副会長	構成員	知事	医療危機対策本部室
18	県災害医療対策会議 災害時医療救護対策部会 （ロジスティック部会）	寺師常務	構成員	知事	医療危機対策本部室
19	県エイズ対策推進協議会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21～〉	伊藤（一）理事 八畝理事	運営委員	知事	医療危機対策本部室
20	神奈川県感染症対策協議会	橋本副会長	委員	会長	医療危機対策本部室
21	県医療費検討委員会	後藤副会長	委員	知事	医療保険課
22	県国民健康保険運営協議会	後藤副会長	委員	知事	医療保険課
23	かながわ健康プラン21 推進会議及びがん克服 県民会議 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21～〉	小川副会長 寺師常務	委員	知事	健康増進課
24	医食農同源研究会 〈漢方理解促進等検討部会委員も兼務〉	坂本理事	委員	知事	健康増進課
25	県アレルギー疾患対策推進協議会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21～〉	伊藤（一）理事 金子理事	委員	知事	健康増進課

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命 権者	関係部署
26	県慢性腎臓病〈CKD〉対策連絡協議会 〈R03. 3. 31 迄〉 〈R03. 6. 21～〉	河野センター長 竹内専務	委員	知事	がん・疾病 対策課
27	県献血推進協議会	唐澤理事	委員	知事	薬務課
28	県薬物乱用対策推進本部 本部会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21～〉	鵜飼会長 小川会長	本部員	知事	薬務課
29	県薬物乱用対策推進本部 青少年・啓発部会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21～〉	高橋理事 石渡理事	部会員	知事	薬務課
30	県後発医薬品使用促進協議会	後藤副会長	委員	知事	薬務課
31	県認知症施策推進協議会	佐藤常務	委員	知事	高齢福祉課
32	県在宅医療推進協議会及び県地域包括ケア会議	佐藤常務	委員	知事	医療課 高齢福祉課
33	かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会	長津副会長	委員	知事	高齢福祉課
34	県学校喫煙・飲酒・薬物乱用防止対策推進協議会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21～〉	鵜飼会長 小川会長	委員	会長	保健体育課
35	県学校給食特別優良学校現地審査会	山形理事	委員	知事	保健体育課
36	学校給食表彰審査会	山形理事	委員	知事	保健体育課
37	学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰） に係る選考委員会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21～〉	鵜飼会長 小川会長	委員	知事	保健体育課
38	ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・ パラリンピック競技大会神奈川推進会議 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21～12. 31 迄〉	鵜飼会長 小川会長	構成員	知事	オリンピック・ パラリンピック課
39	県国民健康保険診療報酬審査委員会 〈R03. 5. 31 迄〉 〈R03. 6. 01～〉	藤本 直樹 泉理事 佐藤常務 阿部理事 福嶋理事 飯田 純一 瀧本 淳 依田 啓司	審査委員	理事長	国保連合会
40	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部 診療報酬請求書審査委員会 〈R03. 5. 31 迄〉 〈R03. 6. 01～〉	長津副会長 竹内専務 花島 邦彦 夏目理事	審査委員	支部長	診療報酬 支払基金
41	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部幹事会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21～〉	鵜飼会長 小川会長	参与	支部長	診療報酬 支払基金

《民間団体役員・委員等》

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命 権者	関係部署
42	(公社)日本薬剤師会	長津副会長	常務理事	—	日本薬剤師会
43	(公社)日本薬剤師会 議事運営委員会	小川会長	委員	会長	日本薬剤師会
44	(公社)日本薬剤師会 法制委員会	関水 康成	委員	会長	日本薬剤師会
45	(公社)日本薬剤師会 医療保険委員会	小川会長	委員長	会長	日本薬剤師会
46	(公社)日本薬剤師会 薬価基準検討会	笠原 英城	委員	会長	日本薬剤師会
47	(公社)日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会	堀川 壽代	委員	会長	日本薬剤師会
48	(公社)日本薬剤師会 編集委員会	尾島 勝也 田沼 和紀	委員	会長	日本薬剤師会
49	(公社)日本薬剤師会 医薬品情報評価検討会	菅野理事	委員	会長	日本薬剤師会
50	(公社)日本薬剤師会 薬局製剤・漢方委員会	八木多佳子	委員	会長	日本薬剤師会
51	(公社)日本薬剤師会 生涯学習委員会	厚田幸一郎	委員	会長	日本薬剤師会
52	(公社)日本薬剤師会 薬学教育委員会	片山 周也	委員	会長	日本薬剤師会
53	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究倫理審査委員会	今井 澄江 竹内専務	委員	会長	日本薬剤師会
54	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究推進委員会	竹内専務	委員	会長	日本薬剤師会
55	(公社)日本薬剤師会 薬局薬剤師部会	伊藤常務	幹事	会長	日本薬剤師会
56	(公社)日本薬剤師会 行政薬剤師部会	黒澤 淑子	幹事	会長	日本薬剤師会
57	(公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会 広報ワーキンググループ	神原 大輔	委員	会長	日本薬剤師会
58	(公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会 学術ワーキンググループ	田口 真穂	委員	会長	日本薬剤師会
59	県立こども医療センター地域医療支援事業 運営委員会	寺師常務	委員	総長	県立こども医療 センター
60	県がん診療連携協議会 地域連携クリティカル パス部会	唐澤理事	委員	総長	県立がん センター

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命 権者	関係部署
61	県立保健福祉大学を支援する会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	井上理事 泉理事	理事	会長	県立保健福祉 大学
62	県エイズ治療拠点病院等連絡協議会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	稲葉理事 寺師常務	委員	会長	横浜市大 付属病院
63	かながわ青少年社会環境健全化推進会議 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	鵜飼会長 小川会長	委員	会長	県青少年課
64	県公衆衛生協会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	鵜飼会長 小川会長	理事	会長	県健康増進課
65	スモークフリー推進かながわ基金 運営委員	石渡理事	委員	会長	県健康増進課
66	薬物クリーンかながわ推進会議 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	鵜飼会長 小川会長	会長	会長	県薬務課
67	薬物クリーンかながわ推進会議 運営委員会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	小川副会長 後藤副会長	委員	会長	県薬務課
68	薬物クリーンかながわ推進会議 広報委員会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	唐澤常務 伊藤常務	委員	会長	県薬務課
69	県立学校保健会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	伊藤(一)理事 唐澤理事	理事	会長	県立学校保健会
70	県学校保健連合会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	鵜飼会長 小川会長 小川副会長 後藤副会長 唐澤常務 山形理事 伊藤常務 佐藤常務	副会長 理事 評議員	—	県学校保健 連合会
71	県学校保健連合会 学校薬剤師部会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	鵜飼会長 小川会長	部会長	会長	県学校保健 連合会
72	県学校保健連合会 健康手帳改訂委員会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	伊藤(一)理事 石渡理事	委員	会長	県学校保健 連合会
73	県社会福祉協議会第2・3種正会員連絡会	坂本理事	委員	会長	県社会福祉 協議会
74	禁煙、受動喫煙防止を推進する神奈川会議 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21 迄〉	井上理事 寺師常務	副会長	会長	県予防医学協会
75	県医師会災害救助対策委員会	寺師常務	委員	会長	県医師会
76	県糖尿病対策推進会議 幹事会	唐澤理事	幹事	会長	県医師会

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命 権者	関係部署
77	在宅医療トレーニングセンター研修事業運営協議会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21〜〉	井上理事 久保田常務	委員	会長	県医師会
78	県在宅歯科医療連携拠点運営事業推進協議会	山形理事	委員	会長	県歯科医師会
79	糖尿病医科歯科連携協議会	唐澤理事	委員	会長	県歯科医師会
80	県保険者協議会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21〜〉	小川副会長 長津副会長	委員	理事長	国保連合会
81	県保険者協議会 事業検討委員会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21〜〉	長津専務 佐藤常務	委員	理事長	国保連合会
82	(公財) かながわ健康財団 評議員会 〈R03. 6. 20 迄〉 〈R03. 6. 21〜〉	鶴飼会長 小川会長	評議員	—	かながわ 健康財団
83	(公財) かながわ健康財団 がん対策推進会議	伊藤常務	委員	理事長	かながわ 健康財団
84	健康チャレンジフェアかながわ実行委員会	中田事務局長	委員	理事長	かながわ 健康財団
85	がん克服シンポジウム実行委員会	寺師常務	委員	理事長	かながわ 健康財団
86	(一財) 北里環境科学センター 評議員会	竹内専務	評議員	—	北里環境科学 センター
87	(一社) 薬学教育協議会 関東地区調整機構 薬局小委員会	久保田常務	委員	委員長	薬学教育協議会 関東地区調整機構
88	(公社) 薬剤師認定制度認証機構	小川会長	社員	—	薬剤師認定制度 認証機構
89	在宅研修分科会（認知症対応力向上研修のあり 方に関する調査研究事業）	佐藤常務	委員	代表理事	地域活性化共同 組合フロンティア
90	日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部	小川 亮子 寺師常務 嶋監事 小宮 賢一	副会長 幹事 幹事 監事	会長	県医師会
91	第3回地域共生社会推進全国サミット in かま くら実行委員会	夏目理事	委員	市長	鎌倉市
92	第10回くすりと糖尿病学会学術集会組織委員会	小川会長	委員	大会長	日本くすりと糖 尿病学会学術集 会

4 会員の表彰

(1) 薬剤師会関係表彰

①神奈川県薬剤師会

ア 会長賞（個人）（12/2）

今井 裕久（平塚）

荒井 俊明（小田原）

引地 信之（相模原）

イ 会長賞（団体）

該当なし

ウ 有功賞（12/2）

伊藤 洋子（横浜市西区）

笛吹 俊之（川崎市中原区）

采女 宣子（横浜市金沢区）

大平 泰寛（横浜市南区）

柏谷 俊彦（三浦市）

楠本 敦子（藤沢市）

小林 秀行（横浜市中区）

杉山 義典（横浜市戸塚区）

諏訪 隆二（平塚市）

高野千代子（厚木市）

谷原 好美（相模原市）

堤 由恵（横浜市中区）

中村 直子（横浜市中区）

二宮 法子（平塚市）

長谷川遵子（大和市）

宮城 洋子（横浜市港北区）

柳 康雄（横浜市緑区）

山本 紀子（横浜市金沢区）

藁科 智代（藤沢市）

計19名

②日本薬剤師会

ア 有功賞（4/1）

石川 将一（横浜市泉区）

伊藤美紀子（横浜市保土ヶ谷区）

井上 保子（相模原市）

岩田 和（藤沢市）

大島 成五（藤沢市）

大田 高久（横浜市西区）

川崎 元彦（横浜市港南区）

川名 清子（県勤薬）

佐野美佐子（横浜市旭区）

勝呂恭仁子（相模原市）

高畑 克朗（川崎市宮前区）

日比登志子（藤沢市）

蒔田 瑤（横浜市鶴見区）

宮崎 美子（横浜市磯子区）

矢野 弘子（鎌倉市）

山浦 計介（横浜市青葉区）

渡辺 邦夫（横浜市港南区）

渡辺美恵子（小田原市）

計18名

(2) 叙勲・大臣表彰

①死亡叙位

ア 正六位（7/6）

永利 裕生（横浜市都筑区）

②叙勲

ア 旭日双光章（秋）

野崎 芳雄（海老名市）

イ 瑞宝双光章〈高齢者叙勲〉（3/1）

川端 春二（横浜市鶴見区）

③厚生労働大臣表彰（2/25）

ア 公衆衛生事業功労

唐澤 淳子（横浜市鶴見区）

④文部科学大臣表彰

ア 学校保健及び学校安全表彰（10/8）

佐々木正昭（相模原市）

（3）県知事表彰

①県民功労者表彰（6/30）

坂本 悟（横浜市港北区）

②保健衛生（1/31）

ア 医療関係功労者

塚本 久美（横須賀市）

（4）その他各種表彰

①神奈川県公衆衛生協会会長表彰（11/17）

久保田充明（横浜市瀬谷区）

②日本公衆衛生協会会長表彰（2/25）

佐藤 克哉（相模原市）

③学校保健功労者等表彰（10月）

金子 智洋（茅ヶ崎市） 佐野真姫子（秦野市） 白井 博（川崎市川崎区）

須田 成行（横浜市旭区） 関口 太郎（横須賀市） 夏見 早苗（横浜市南区）

深井 則雄（川崎市多摩区） 矢吹 智哉（秦野市） 吉田 善紀（相模原市）

渡邊 哲也（綾瀬市） 計10名

5 会員の物故（報告分）

斉藤 静枝（川崎市幸区） 岩岡 敬子（藤沢市） 今井 信子（平塚市）

松本 澄子（横浜市中区） 渡辺 トリ（横浜市磯子区） 岡本 俊一（横須賀市）

永利 裕生（横浜市都筑区） 濱田 展至（川崎市川崎区） 池田 重夫（横浜市緑区）

大田 高久（横浜市西区） 石澤 秀光（川崎市中原区） 増子 泰規（藤沢市）

井上 学（川崎市麻生区） 北野 隆司（茅ヶ崎市） 加藤 孝（足柄上郡）

伊藤 文明（横浜市保土ヶ谷区）

6 厚生労働省、日薬等の会議参加状況

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 関東ブロック協議会（第1回）〈栃木〉 【web開催】	令和3年5月23日	鵜飼、小川、後藤
日薬 関東ブロック協議会（第2回）〈茨城〉 【web開催】	令和4年2月6日	小川、後藤、長津、寺師
日薬 関東・東京ブロック会議〈埼玉〉	令和3年10月31日	久保田・塚本
日薬 都道府県会長協議会（第1回）【web開催】	令和3年5月12日	後藤
日薬 都道府県会長協議会（第2回）	令和3年7月6日	小川
日薬 都道府県会長協議会（第3回）【web開催】	令和3年9月18日	小川
日薬 都道府県会長協議会（第4回）	令和4年1月12日	小川
日薬 第98回定時総会	令和3年6月26日	小川、後藤（委任）、橋本・唐澤・竹内・寺師（書面）
日薬 第99回臨時総会	令和4年3月5日	小川、後藤・橋本・竹内・寺師・唐澤（書面）
薬剤師認定制度認証機構 定時社員総会 【web併用】	令和3年6月25日	小川
薬剤師認定制度認証機構 臨時社員総会 【書面開催】	令和3年8月16日	小川
第26回認定薬剤師認証研修機関協議会 【web開催】	令和3年6月19日	小川、竹内、阿部、久保田、夏目、三澤
第27回認定薬剤師認証研修機関協議会 【web開催】	令和4年1月22日	久保田、阿部、福嶋、三澤
日薬 学校薬剤師部会 東京・関東ブロック連絡 会議【web開催】	令和4年1月28日	後藤、伊藤
日薬 学校薬剤師部会全国担当国会議【web開催】	令和4年3月3日	油谷、水野
日薬 改正薬機法に関する担当者全国会議【web 開催】	令和3年6月19日	佐藤
日薬 都道府県薬剤師会アンチ・ドーピング活動 担当者等研修会【web開催】	令和3年12月3日	後藤
日薬 検査キットの薬局販売及び薬局等を活用 した都道府県の無料検査事業への対応に係る全 国担当国会議【web開催】	令和3年12月17日	伊藤

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 薬剤師の資質向上に向けた研修に係る調査・検討事業（ICT を活用した業務等に係る薬剤師の資質向上）試行的なオンライン研修【web 開催】	令和4年1月22日	竹内、伊藤
日薬 研究推進に関する全国会議	令和4年1月28日	伊藤
日薬 WEB 研修、e-learning 研修システム説明会【web 開催】	令和4年3月10日	久保田
日薬 薬剤師会薬事情報センター実務担当者等研修会【web 開催】	令和4年3月16日	竹内、伊藤
関東信越厚生局管内10都県薬剤師会社会保険担当者連絡会議【web 開催】	令和4年2月23日	竹内、佐藤
第73回関東甲信越静学校保健大会実行委員会【web 開催】	令和4年3月10日	小川

会 員 の 動 向

<業 種 別 会 員 数>

(R4. 3. 31現在)

区分	薬 局				店 舗 販 売 業				その他(行政、病院、無職他)					合 計					
	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
H30年度	2,438	1,159	247	3,844	36	17	11	64	2	482	64	33	581	2,476	1,658	64	291	11	4,500
R1年度	2,385	1,108	220	3,713	33	14	7	54	1	473	56	38	568	2,419	1,595	56	265	10	4,345
R2年度	2,346	1,022	204	3,572	32	13	6	51	2	454	49	36	541	2,380	1,489	49	246	11	4,175
R3年度	2,317	985	191	3,493	32	15	7	54	1	428	44	31	504	2,350	1,428	44	229	10	4,061

[会員種別]

I 種 : 薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者または薬局・店舗販売業の管理者である薬剤師

II 種 : 第1種・第3種会員以外の薬剤師

III 種 : 満77歳以上の無職の薬剤師

賛 助 : 非薬剤師の薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者、薬品の製造業及び卸売業・医薬品販売業等の関係者、
 本会の目的及び事業に賛同する個人及び企業・団体
 神奈川県以外に在住する薬剤師

<入 会 者 ・ 退 会 者 数>

区分	入 会 者						退 会 者						差 引					
	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
H30年度	231	113	0	12	0	356	272	180	7	36	0	495	▲ 41	▲ 67	▲ 7	▲ 24	0	▲ 139
R1年度	211	111	0	12	0	334	276	162	11	39	1	489	▲ 65	▲ 51	▲ 11	▲ 27	▲ 1	▲ 155
R2年度	279	87	0	8	2	376	318	187	16	24	1	546	▲ 39	▲ 100	▲ 16	▲ 16	1	▲ 170
R3年度	222	97	0	7	0	326	243	163	9	23	2	440	▲ 21	▲ 66	▲ 9	▲ 16	▲ 2	▲ 114

●県内店舗数と会員店舗数比較

業 種	R3.3月	R4.3月		R2.3月	R3.3月	
	県内店舗数	会員店舗数	加入率	県内店舗数	会員店舗数	加入率
薬 局	4,009	2,357	58.8%	3,952	2,385	60.3%
店舗販売業	1,509	39	2.6%	1,486	38	2.6%
卸売販売業	580	79	13.6%	577	79	13.7%
薬種商販売業	1	0	0.0%	1	0	0.0%
特例販売業	0	0	0.0%	0	0	0.0%
配置販売業	183	0	0.0%	195	0	0.0%
計	6,282	2,475	39.4%	6,211	2,502	40.3%

※県内店舗数は、神奈川県薬務課発行『薬務行政の概要』による。

●県内薬剤師数と会員数比較 (※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数)

業 種	R2.12月	R4.3月		H30.12月	R3.3月	
	県内薬剤師数	会員薬剤師数	加入率	県内薬剤師数	会員薬剤師数	加入率
薬 局	16,036	3,305	20.6%	15,004	3,371	22.5%
病院・診療所	3,682	86	2.3%	3,619	91	2.5%
介護保険老人施設	92	5	5.4%	80	5	6.3%
大 学	145	24	16.6%	147	23	15.6%
医薬品販売業	2,186	129	5.9%	2,576	128	5.0%
行 政	423	37	8.7%	392	38	9.7%
その他業務	428	27	6.3%	334	28	8.4%
無職・不詳	880	219	24.9%	761	245	32.2%
計	23,872	3,832	16.1%	22,913	3,929	17.1%

※県内薬剤師数は、厚労省 医師・歯科医師・薬剤師統計による。

事業報告

I 公益事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業

(1) かながわ薬剤師学会大会の開催

神奈川県病院薬剤師会と共催で、令和3年11月20日(土)・21日(日)の2日に渡り、神奈川県総合薬事保健センターにおいて19回目となる薬剤師学会大会をオンライン配信で開催した。

大会では、会員発表や研修会のほか、大会メインテーマである「いざ変革！2021～コロナ時代における薬剤師の在り方～」に係る特別講演や薬業連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会合同セミナーを実施した。

〔第19回かながわ薬剤師学会大会〕

日時：令和3年11月20日(土)・21日(日)

会場：web開催

主催：神奈川県病院薬剤師会、神奈川県薬剤師会

後援：神奈川県、横浜市

テーマ：いざ変革！2021～コロナ時代における薬剤師の在り方～

内容：

(1日目)

○ 改正薬機法を読み解く～目指すべき薬局の姿のヒント～

- ・オンライン服薬指導と法令遵守体制の整備

講師 長津雅則氏(日本薬剤師会常務理事・神奈川県薬剤師会副会長)

- ・地域連携薬局と専門医療機関連携薬局

講師 豊見敦氏(日本薬剤師会常務理事・広島県薬剤師会副会長)

○ 症例報告の書き方(初級編)

講師 太田一郎氏(横浜市立大学附属病院薬剤部)

(2日目)

○ 漢方の理解促進に関する研修会～薬剤師編～

- ・生薬・漢方薬・養生～この時代にどう活かすか考えてみませんか～

講師 三澤喜彦氏(ファーマシー丸山台)

○ 特別講演

- ・新型コロナウイルス感染症への薬剤師の関わり

講師 前田幹広氏(聖マリアンナ医科大学病院薬剤部)

- ・コロナ医療施策の中で薬剤師に期待される役割

講師 阿南英明氏(神奈川県医療危機対策担当理事(医療危機対策統括官))

○ 県民公開講座

- ・漢方の理解促進に関する研修会～まちがいだらけの漢方知識～

講師 杉山卓也氏(漢方のスギヤマ薬局)

- 病院薬剤師と薬局薬剤師の情報共有～患者中心の地域連携とは何か～

- ・鶴見地域におけるトレーシングレポートによる情報共有の取組
～双方向からの情報提供とブラッシュアップのための情報共有～

講師 永瀬怜司氏（済生会横浜市東部病院薬剤部）
立川靖之氏（あろま薬局）

- ・患者退院時に関わる、立場の異なる薬剤師の連携について

講師 島田顕氏（ガーデン薬局）
水野裕一氏（湘南台スマイルクリニック）

参加者：1,391名（視聴者延べ数）

〈かながわ薬剤師学会大会チラシ〉

第19回 かながわ
薬剤師学会大会 2021
「いざ変革！2021～コロナ時代における薬剤師の在り方～」

開催日時 2021年11月20日(土) 15:00～18:45
21日(日) 9:00～16:30

参加方法 オンラインでの「ZOOM」配信

事前申込制

プログラム

1日目(11月20日)

15:00～16:30 会長挨拶
(1) 15:00～16:30 会長挨拶
(2) 16:30～18:45 会長挨拶
(3) 17:00～18:30 会長挨拶
(4) 17:15～18:45 会長挨拶

2日目(11月21日)

9:00～10:30 会長挨拶
(5) 9:00～10:30 会長挨拶
(6) 9:15～10:45 会長挨拶
(7) 11:00～12:30 会長挨拶
(8) 13:00～14:00 会長挨拶
(9) 14:15～15:45 会長挨拶
(10) 14:30～16:30 会長挨拶

〈かながわ薬剤師学会大会県民公開講座チラシ〉

第19回 かながわ
薬剤師学会大会 2021
「いざ変革！2021～コロナ時代における薬剤師の在り方～」

開催日時 2021年11月21日(日) 県民公開講座

参加方法 オンラインでの「ZOOM」配信

配信時間 13:00～14:00

参加費 無料

先着 1,000名様

講師 杉山 卓也氏

講演内容 減方の理解促進に関する研修会～まちがいだらけの減方知識～
◆そもそも減方薬とは？ ◆家庭で常備できる減方薬はある？
◆どんな症状に効くの？ ◆使い方の注意点は？

(2) 日本薬剤師会学会大会等への参加・発表

第54回日本薬剤師会学会大会が開催され、各委員会が次のとおり発表した。

日時：令和3年9月19日（日）・20日（月・祝）

会場：web開催

主催：日本薬剤師会／福岡県薬剤師会

テーマ：多様性を可能性に～未来に広がる薬剤師～

内容：ポスター発表3題

- ・公衆衛生・学薬委員会

神奈川県立学校における学校環境衛生検査比較調査

- ・地域保健委員会

健康食品・サプリメントとポップの作成方法に関する薬剤師向け研修会の有用性の検討

- ・リスクマネジメント委員会

薬剤師会が担う薬剤師の Purpose Branding

(3) 薬学研究への助成

薬学の進歩発展に資するため、県内の薬剤師が行っている研究に対し、平成 24 年度より助成金を交付しているが、令和 3 年度の申請はなかった。

募集期間：令和 3 年 5 月 1 日（土）～ 7 月 31 日（土）

研究テーマ：臨床薬学的研究、社会薬学的研究、医療経済・薬剤経済学的研究等

補助金交付額：総額 100 万円以内

広報：本会ホームページ

(4) 臨床薬学研究に関する倫理審査

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省告示）に基づき、薬剤師が活動する分野の研究で学会発表、論文投稿の対象となるものについて、6 件の倫理審査を実施した。

また、研究倫理学習用 DVD の貸出 3 件の対応を行うとともに、新しい研究倫理学習用 DVD を作成した。

(5) 薬学生育成に関する事業

① 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催

実務実習において薬学生への質の高い教育を実践するため、認定実務実習指導薬剤師を養成する薬学教育協議会で承認されたワークショップを、病院・薬局実務実習関東地区調整機構との共催の補助事業として実施した。

日時：令和 3 年 8 月 8 日（日） 9:00～19:00

8 月 9 日（月・祝）9:00～18:00

会場：横浜薬科大学

受講者：26 名（会員 14 名／県病薬 10 名／その他 2 名）

② アドバンストワークショップ～薬学実務実習における連携の在り方～

神奈川県病院薬剤師会との共催で、認定実務実習指導薬剤師の資格を取得後、実務実習の指導にあたった認定実務実習指導薬剤師を対象に、薬学実務実習における連携の在り方の検討、指導方法や問題点の共有、解決を図ることを目的として、オンラインホワイトボード「Miro」を活用したワークショップを開催した。

日時：令和 3 年 7 月 4 日（日）13:00～16:30

会場：web 開催

受講者：26 名（会員 12 名／県病薬 7 名／大学 7 名）

③ 手引きを用いた実務実習の進め方の説明会の開催

新規受入れの認定実務実習指導薬剤師や実務実習受入薬局の薬剤師を対象に、改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習の進め方や今後の実習に求められる内容等について説明会を開催した。

日時：令和 4 年 2 月 20 日（日）13:30～15:00

会場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：14 名（会員 9 名／一般 5 名）

④ 認定実務実習指導薬剤師更新講習会の開催

認定を受けた日から5年以上を経過した者を対象に、認定実務実習指導薬剤師の認定資格更新のための講習会を開催した。

ア 第1回認定実務実習指導薬剤師更新講習会

日 時：令和4年2月20日（日）10:00～11:50

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：98名（会員10名／県病薬66名／日病薬8名／一般14名）

イ 第2回認定実務実習指導薬剤師更新講習会

日 時：令和4年3月5日（土）18:00～19:50

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：93名（会員29名／県病薬31名／日病薬22名／一般11名）

⑤ 神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会実務実習担当者と大学との懇談会の開催

薬局、病院及び大学の更なる連携強化を図るため、意思の疎通や相互理解を深める情報・意見交換の場として懇談会を開催した。

日 時：令和4年1月31日（月）18:30～20:00

会 場：web開催

参加者：59名（会員23名／県病薬5名／大学31名）

⑥ 地域薬剤師会実務実習担当者会議の開催

各地域の実務実習担当者に本会事業並びに日本薬剤師会及び関東地区調整機構からの通知や事業について伝達し、地域の問題点や課題の共有等を行うために担当者会議を開催した。

ア 第1回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：令和3年9月16日（木）19:00～20:10

会 場：web開催

内 容：・実務実習担当者アンケートについて
・意見交換

イ 第2回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：令和4年2月2日（水）19:00～20:00

会 場：web開催

内 容：・実務実習実施後アンケートについて
・意見交換

（6）新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

実施なし

2 児童・生徒等に関する事業

(1) 学校環境衛生管理事業

① 神奈川県立学校の環境衛生検査

県立学校担当学校薬剤師による検査の利便性向上のため、「学校環境衛生基準」に基づき、神奈川県教育委員会から環境衛生検査機器の貸与を受け、次の事業を実施した。

- ・学校環境衛生検査（県立学校全校（全日制、定時制、通信制、支援学校等））
- ・県立学校室内空气中化学物質濃度検査（シックハウス検査 23 校）
- ・県立学校給食調理場定期検査（特別支援学校 27 校）
- ・学校環境衛生検査機器の現物照合、神奈川県教育委員会との打合せ会（8/26）

(2) 薬物乱用防止啓発事業の支援

① 薬物乱用防止啓発教室の開催

神奈川県からの委託事業として、県内の小・中・高校（公・私立）の生徒、教職員及び保護者を対象に、学校薬剤師が講師となり薬物乱用防止啓発教室を実施した。

期 間：令和3年4月～令和4年3月

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	校 数	生徒数	校 数	生徒数	校 数	生徒数
高 等 学 校	9	2,302	9	1,994	13	3,369
一 貫 校	4	1,061	0	0	2	796
中 学 校	61	10,612	47	6,941	50	8,089
小 学 校	137	11,483	112	9,677	159	13,519
P T A 等	0	0	2	136	1	34
計	211	25,458	170	18,748	225	25,807

② 中高生向け教材「ダメ。ゼッタイ。」リーフレットの増刷

中高生向けリーフレットを 6,000 部増刷し、薬物乱用防止啓発教室の資材として学校薬剤師へ提供した。

(3) 医薬品適正使用教室の推進

① 啓発資料の購入

ア 薬物乱用防止啓発リーフレットの増刷

「NO! DRUG!」リーフレット 2,000 部



イ 購入品：薬物乱用防止啓発 DVD

購入数：5 種 6 枚

収載内容：・愛する自分を大切に！ ・薬物乱用はダメ。ゼッタイ。～やさしい解説！～
・身近にひそむ薬物乱用 ・薬物乱用から自分を守る
・それってホント？事例でみる薬物乱用

(4) 学校保健向上事業

① 公衆衛生研修会（学校環境衛生編）の開催

日 時：令和 3 年 5 月 16 日（日）14:00～16:30

会 場：web 開催

内 容：・令和 2 年度神奈川県立学校環境衛生検査の実施状況報告及び令和
3 年度学校環境衛生検査について
・学校環境衛生活動の課題解決に向けて

講師 北垣邦彦氏（東京薬科大学薬学部教授）

受講者：45 名（会員 44 名/一般 1 名）

② 学校薬剤師地域担当者会議の開催

日 時：令和 3 年 5 月 30 日（日）12:00～13:00

会 場：web 開催

内 容：・学校環境衛生検査について
・薬物乱用防止啓発事業について
・2021年度全国学校保健調査について
・意見交換

③ 公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）の開催

日 時：令和 3 年 7 月 18 日（日）10:00～11:50

会 場：web 開催

内 容：・学校環境衛生検査について

講師 濱地優作氏（みねおか調剤薬局）

・(SGD) 学校環境衛生検査

進行 濱地優作氏 (みねおか調剤薬局)

受講者：28 名 (会員 26 名/一般 2 名)

④ 全国学校保健調査の実施

日本薬剤師会が昭和 46 年度から実施している全国学校保健調査について、今年度も地域薬剤師会の協力のもと、神奈川県内調査の取りまとめを行った。

なお、本調査結果は、学校環境衛生の維持・管理に資する参考資料として、毎年文部科学省へ報告を行っている。

期 間：令和 3 年 5 月～9 月中旬

内 容：2020 年度の揮発性有機化合物、ダニ又はダニアレルゲン並びに騒音環境等の定期検査と新型コロナウイルス感染症対策について

対 象：神奈川県内学校薬剤師

報告数：1,339 件

3 医薬品適正使用に関する事業

(1) くすりと健康すこやかフェアの開催

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(2) 薬と健康の週間事業の支援

厚生労働省及び都道府県等が推進する「薬と健康の週間」(10/17～10/23)において、厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構等作製のポスター、チラシ、ハンドブックなどを会員薬局及び各地域薬剤師会へ送付し、かかりつけ薬剤師の普及、医薬品適正使用、セルフメディケーションの推進などの啓発を実施した。

(3) 医薬品適正使用関連事業の推進

① 医薬品適正使用検討委員会の開催

県医師会、県歯科医師会、県病院協会及び県病院薬剤師会と年1回開催することとしているが、協議事項について喫緊の課題がなかったため開催は見合わせた。

(4) セルフメディケーションの推進

① 県民向け啓発グッズの作製

県民に対するセルフメディケーションの普及啓発を目的として、くすりと健康相談薬局県下一斉相談週間等のイベントで配布するためのグッズを作製した。

ア 絆創膏(6,000個)《一部改訂》



〈外装〉



〈内装〉

- イ 啓発ポスター（会員薬局に配付）
・秋バージョン（A 2判 2,500 枚）

・春バージョン（A 2判 2,500 枚）



- ウ タウンニュース広告（11 月 4 日～6 日掲載、神奈川県全域 12.3cm×3 段）



② 健康測定機器による健康相談の推進

ア 健康測定機器等の貸出し

県民のセルフメディケーション推進のため、健康測定機器等 6 機種 13 台を地域薬剤師会及び会員薬局に貸出した。

なお、本会が認定する「くすりと健康相談薬局」の推進のため、貸出し機器のうち 4 機種は優先的に予約受付期間を設けている。

《貸出区分別一覧》

令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

区分	件数
会員薬局	13
地域薬剤師会	3
くすりと健康相談薬局	57
計	73

《貸出機器別一覧》

令和3年4月1日～令和4年3月31日

機器名	区分	保有台数	貸出台数 (会員及び 地域薬剤師会)	貸出台数 (くすりと 健康相談薬局)	計
脳年齢・血管年齢・健美度チェック器		3	5	32	37
血管年齢計		3	7	32	39
骨健康測定器		2	6	28	34
肺年齢計		2	1	1	2
血圧計		1	0	3	3
環境放射線モニター※		2	0	0	0
計		13	19	96	115

※自然物や人工物から放出される放射線測定器

イ 健康測定機器の実例報告

貸出しを行っている健康測定機器を積極的に活用している薬局の実例を会誌「薬壺」で紹介した。

- ・2021年7・8月号掲載 なの花薬局横須賀長井店（横須賀市）
- ・2021年11・12月号掲載 池上調剤薬局（横須賀市）
- ・2022年3・4月号掲載 ヤマガタ薬局（横浜市中区）

③ 薬剤師向けセルフメディケーション啓発研修会の開催

生活者のセルフメディケーションをサポートする能力を向上させ、薬局薬剤師の職能を充実させることを目的として開催した。

ア セルフメディケーション研修会 ～総論編～「くすりと健康相談薬局」相談力向上研修会

日 時：令和3年4月18日（日）14:00～17:30

会 場：web 開催

内 容：・基礎から学ぶサプリメントと実務に必要な知識

講師 今井澄江氏(NPO 法人神奈川県消費者の会連絡会 代表理事)

・(SGD) 明日から実践できる効果的なPOPとチラシの作り方

進行 堀川壽代氏（光栄堂薬局）

受講者：51名（会員50名/一般1名）

イ セルフメディケーション研修会～事例編～「くすりと健康相談薬局」取組紹介研修会

日 時：令和3年9月12日（日）14:00～15:45

会 場：web 開催

内 容：・県民に愛される『くすりと健康相談薬局』

講師 塚本久美氏（ヒロ薬局）

・くすりと健康相談薬局「県下一斉相談週間」取組事例紹介

講師 宇井曜子氏（小田薬局）

福田美恵子氏（山口台薬局）

伊藤直哉氏（トップファーマシー）

・(パネルディスカッション) 地域に根差す薬局機能とは

受講者：80名(会員79名/一般1名)

ウ セルフメディケーション研修会～各論編～「くすりと健康相談薬局」健康サポート
力向上編(薬局製剤編)

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

④ 漢方の理解促進に関する研修会

薬局薬剤師の地域での健康情報拠点機能を充実させる一環として、薬剤師向け漢方の理解促進に関する研修会を、第19回かながわ薬剤師学術大会内で開催した。(再掲)

日 時：令和3年11月21日(日) 9:00～10:30

会 場：web開催

内 容：生薬・漢方薬・養生～この時代はどう活かすか考えてみませんか～

講師 三澤喜彦氏(ファーマシー丸山台)

⑤ 医薬品登録販売者継続研修(県医薬品登録販売者協会との共催事業)

医薬品医療機器等法に基づき、登録販売者を置く薬局開設者を対象に法定義務研修である本研修を実施した。

ア 第1回

日 時：令和3年6月9日(水)

会 場：DVD研修

内 容：皮膚の損傷、薬事関係法規・制度、医薬品の適正使用・安全対策 等

受講者：56名

イ 第2回

日 時：令和3年9月5日(日)

会 場：DVD研修

内 容：新型コロナウイルス感染症等の呼吸器感染症とその対策、頭が痛い

受講者：56名

ウ 第3回

日 時：令和3年11月4日(木)

会 場：DVD研修

内 容：痔、全国統一講習会、リスク区分等の変更があった医薬品

受講者：56名

エ 第4回

日 時：令和4年3月19日(土)

会 場：DVD研修

内 容：アレルギー性鼻炎、便秘異常

受講者：57名

(5) くすりと健康相談薬局の推進

平成30年度の認定薬局が更新となり、9月1日付けで新規21件、更新114件、合計135件の薬局を認定し、県内262薬局となった。

申請期間：令和3年5月6日～5月31日

申請薬局：137薬局

認定薬局：135薬局

辞 退： 2薬局

認定期間：令和3年9月1日～令和6年8月31日

① 認定証交付式の開催

9月12日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、認定結果及び認定証等については郵送した。

② チラシ等啓発グッズの作製・配布

県下一斉相談週間の開催にあたり、次の啓発グッズを作製した。

- ・県民向けチラシ薬局PR用 30,000枚、制度PR用：12,000枚《改訂》
- ・のぼり（小・台座）80個《増備》
- ・ステッカー300枚《増備》
- ・絆創膏6,000個《増備》（再掲）
- ・エコバック2種各3,000個《新規作製》
- ・マスク17,000枚《増備》
- ・ウェットティッシュ10,000個《増備》

エコバック



③ 県下一斉相談週間の開催

認定薬局で日々行っている相談業務を改めて県民にアピールする「県下一斉相談週間」を実施した。

日 時：令和3年11月8日（月）～14日（日）

会 場：各認定薬局

事前周知：令和3年11月4日（木）～7日（日）

タウンニュース誌に広告掲載 （再掲）

- ・ポスター（A2判）の作製：300枚



④ 認定薬局取材記事の会報誌への連載

会誌「薬壺」において認定薬局の取組を紹介するため、認定薬局を取材し、インタビュー記事を掲載した。

第15回 ポートサイド薬局（横浜市神奈川区：2021年5・6月号）

第16回 オリオン薬局（川崎市中原区：2021年9・10月号）

第17回 カワセ薬局 本店（横浜市旭区：2022年1・2月号）

（6）薬事情報センターの充実

医薬品の適正使用、薬害の防止等を推進するため、厚生労働省、日本薬剤師会及び製薬メーカー等から医薬品や副作用等の情報収集に努め、会員や医師・県民等からの医薬品、化学物質、医療保障制度等に関する相談への対応や情報提供などの支援を実施した。

令和3年度（4月～3月）相談件数 985件（前年度960件）

4 医療安全に関する事業

(1) 神奈川医療安全推進セミナーへの参画

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(2) 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業

リーフレットの増刷 30,000 枚



(3) 多重受診防止対策及び偽造処方箋対策の推進

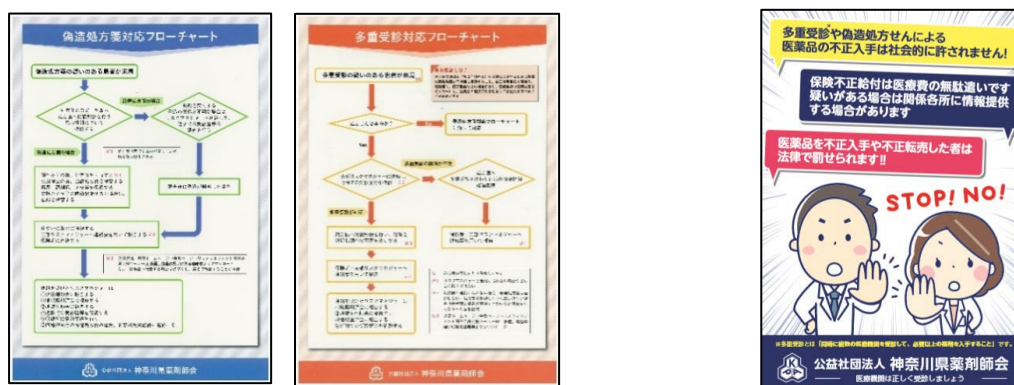
① 多重受診に関する情報の周知

多重受診防止対策として、保険者から給付を制限された患者等の情報について、リスクマネジャーを通じて薬局に情報提供することにより再発防止を図った。また、処方箋を偽造して行使した患者情報についても同様に情報提供を行い、再発防止を図った。

- ・多重受診 26 件
- ・処方箋偽造 6 件

② 偽造処方箋対応及び多重受診対応フローチャートを会員薬局へ配布

③ 多重受診防止啓発ポスターの増刷 ポスター増刷 2,400 枚



(4) 高度管理医療機器等継続研修会の開催

医療機器の品質管理などのため、医療機器販売業務の営業管理等に係る研修の受講が毎年必須であることから、日本薬剤師会との共催による研修会を次のとおり開催した。

会 場：web 開催（日薬コンテンツを利用して Zoom 配信）

日 時・受講者：

第1回：令和3年10月21日（木）14:00～16:15

245名（会員203名/一般42名）

第2回：令和3年10月21日（木）18:00～20:15

239名（会員192名/一般47名）

第3回：令和4年2月27日（日）10:00～12:15

245名（会員183名/一般62名）

第4回：令和4年2月27日（日）14:00～16:15

109名（会員75名/一般34名）

(5) 薬害関連資料収集検討

薬害の起こらない安全な社会づくりのため、また、これまでの薬害事例に学ぶことは重要であるとして過去の薬害を振り返るため、薬壺に次のとおり掲載し、パネルを作製した。

・薬壺3・4月号 薬害の歴史について（第8回）薬害スモン

薬害スモン事件		1953-1970
1898	スイス バーゼル化学工業 キノホルム開発	
1913	スイスで皮膚殺菌消毒剤ヴィオフォルム販売開始	
1934	キノホルム内服薬、販売開始 過酷はアメリカ東部のみ	
1936	内服薬 キノホルム製剤指定	
1939	厚生省 キノホルム製剤指定解除	
	キノホルム第五改正日本薬局方に収載	
1945	米JAMA誌キノホルム乱用による中毒発生を掲載	
1949	このころキノホルム製剤の中止と過酷に過酷拡大	
1957	山形市でスモン患者多発、以降全国各地で集団発生	
1961	このころキノホルム製剤にまで過酷拡大	
	国民皆保険制度開始	
1966	スウェーデンのハンソン医師Lancet誌でキノホルム副作用を警告	
1969	全国スモンの会発足	
	厚生省スモン調査研究協議会を設置	
1970	井上ウィルス説報道 スモン患者の自殺相次ぐ	
	東大薬学部で患者検体からキノホルムのキレート化合物検出	
	厚生省 キノホルム販売停止を指示	
1971	東京地裁へ初の提訴	
1977	東京地裁で国、武田、デバ和精受審 田辺は拒否	
1978	金沢地裁、東京地裁、福岡地裁で判決 以降6地裁で順次判決が下る	
1979	薬事法改正 再審査制度導入、企業に副作用報告義務	
	医薬品副作用被害救済基金法制定 世界初	
1987	仙台地裁で最終和解成立	
2020	京都医科大学 勝山らスモンの発症メカニズムの一端を解明	

5 公衆衛生に関する事業

(1) 献血事業への協力、推進

献血事業を推進するため、神奈川県赤十字血液センターに協力し、街頭にてプラカードを使い、献血への協力を呼び掛けた。

① 第1回

日 時：令和3年6月13日（日）10:00～16:00

会 場：東急東横線武蔵小杉駅前

献血者：61名

② 第2回

日 時：令和4年2月23日（水・祝）10:30～16:00

会 場：相模大野駅コリドー街

献血者：41名

(2) 薬物乱用防止の啓発

① 街頭キャンペーン

ア 令和3年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 令和3年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

② アンチ・ドーピング対策

アンチ・ドーピング活動推進のため、スポーツファーマシスト推進担当者及び地域薬剤師会等への情報提供の一環として、日本薬剤師会発行「薬剤師のためのアンチドーピング・ガイドブック 2021年版」購入の取りまとめを行い、スポーツファーマシストの知識向上を図った。

③ 薬物乱用防止研修会

日 時：令和3年5月30日（日）14:00～16:40

会 場：web開催

内 容：薬物乱用の最新事情と教育における基本的な考え方

講師 鬼頭英明氏（法政大学スポーツ健康学部教授）

受講者：56名（会員54名/一般2名）

(3) 公衆衛生向上事業

① 栄養研修会

来局者への的確な栄養指導等健康管理に貢献するため、栄養の考え方の基礎知識を習得し、職能の向上を図る栄養研修会を開催した。

日 時：令和4年1月23日（日）14:00～16:00

会 場：web 開催

内 容：妊婦から乳幼児まで新たなガイドラインのポイントと栄養支援のあり方
～ガイドラインのポイントとドラッグストアや店頭で実践可能な食事や飲料、便秘等栄養補給についての支援方法～

講師 今井愛 氏（神奈川県栄養士会）

受講者：62 名（会員 62 名/一般 0 名）

② 公衆衛生研修会

患者の健康管理に貢献することを目的として、薬剤師職能の向上を図るとともに、更なる衛生意識の向上を促すための研修会を開催した。（全 3 回）

会 場：web 開催

講 師：高橋良氏（昭和大学リウマチ膠原病内科）

日時・内容・受講者：

第 1 回：令和 3 年 8 月 1 日（日）14:00～16:25

本当に使える症候学の話をしよう～下痢～

63 名（会員 60 名/一般 3 名）

第 2 回：令和 3 年 10 月 3 日（日）14:00～16:25

“発熱” から考える『臨床推論キホンのキ』

61 名（会員 61 名/一般 0 名）

第 3 回：令和 4 年 2 月 13 日（日）14:00～16:25

「胃グスリのはなし」～病態生理とピットフォール～

66 名（会員 64 名/一般 2 名）

（４）かながわ健康財団等事業への参画

① 薬物クリーンかながわ推進会議

ア 令和 3 年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン（再掲）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 令和 3 年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン（再掲）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

② かながわ青少年社会環境健全化推進会議

社会環境健全化推進街頭キャンペーン

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

③ 健康チャレンジフェアかながわ 2021

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

6 地域医療に関する事業

(1) 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進

県民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれるため、地域における医療・介護の関係機関と連携して、次の事業を実施した。

① 薬剤師向け支援事業

在宅医療研修会の開催

日 時：令和3年12月5日（日）13:00～15:15

会 場：web 開催

内 容：・在宅重症心身障害児とその家族はどのような生活を送っているのか

講師 小林拓也氏（能見台こどもクリニック院長）

・横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち開設へ

講師 田川尚登氏（認定 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト
代表理事）

受講者：88 名（会員 85 名/一般 3 名）

② 在宅医療・介護連携を行う多職種機関への支援事業

在宅医療支援薬局リストの作成

作 成 数：2,700 冊

登録薬局数：854 薬局（令和3年8月現在の申請薬局）

配 布 先：主に在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション等

③ 認知症対応力向上研修会の開催

日 時：令和3年9月26日（日）13:00～17:00

会 場：web 開催

内 容：・認知症施策とコロナ禍における実情

講師 石毛幸子氏（大和市上草柳・中央地域包括支援センター長）

・認知症の人と家族を支える多職種連携・協働

～薬局・薬剤師も認知症をにんちしょう！～

講師 武井和夫氏（武井内科医院院長）

・認知症介護の現状、認知症患者ご本人の言葉、薬剤師に期待すること」

講師 玉井秀直氏（ひとみメディカルサポーターズ

こいそなんでも福祉相談室管理者）

受講者：112 名（会員 94 名/一般 18 名）

④ お薬に関する出前講座への講師派遣

募集なし

⑤ 神奈川県介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修への協力

神奈川県が主催する神奈川県介護支援専門員研修において、本会から推薦された医療・介護保険委員会委員が専門研修課程の一部を担当し、介護支援専門員の育成に協力した。

〈派遣先機関及び回数〉

・総合健康推進財団 2 回（6/21、11/4）

- ・介護の未来 4回 (6/30～7/14、7/7～8/23、9/30～10/26、2/22～3/2)
- ・神奈川県社会福祉協議会 2回 (8/4、12/17)
- ・(合同開催) 神奈川県社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、川崎市社会福祉協議会 1回 (9/8)
- ・(合同開催) 神奈川県社会福祉協議会、(福) 横浜市社会福祉協議会 1回 (12/15)

⑥ 居宅療養管理指導マニュアル第4版の作成

令和3年度介護報酬改定に伴い、地域において多職種と連携し薬剤師が在宅療養に参画する一助になるよう、「居宅療養管理指導マニュアル 第4版」の編集(改訂)を行った。



(2) 薬・薬連携の強化と相互の資質向上

① 神奈川県病院薬剤師会との合同研修会の開催

ア 薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会との合同セミナー

病院薬剤師と薬局薬剤師の情報共有～患者中心の地域連携とは何か～

※第19回かながわ薬剤師学術大会内で実施(再掲)

日時：令和3年11月21日(日) 14:30～16:30

場所：web開催

内容：・鶴見地域におけるトレーシングレポートによる情報共有の取組
～双方向からの情報提供とブラッシュアップのための情報共有～

講師 永瀬怜司氏(済生会横浜市東部病院薬剤部)

立川靖之氏(あろま薬局)

・患者退院時に関わる、立場の異なる薬剤師の連携について

講師 島田顕氏(ガーデン薬局)

水野裕一氏(湘南台スマイルクリニック)

・パネルディスカッション

座長 神奈川県薬剤師会医療・介護保険委員会 藤本直樹

神奈川県病院薬剤師会業務検討委員会 稲葉健二郎

パネリスト：永瀬怜司氏(済生会横浜市東部病院薬剤部)

立川靖之氏(あろま薬局)

島田顕氏(ガーデン薬局)

水野裕一氏(湘南台スマイルクリニック)

イ 褥瘡治療薬サミット in かながわ 2021 の開催

日時：令和3年10月31日(日) 13:00～16:40

会場：web開催

内容：・褥瘡は外用薬の特性を活かすことが重要!!～そのために必要な病態把握と薬剤選択～古田メソッド

・褥瘡処置のポイントと注意点

講師 古田勝経氏（愛生館小林記念病院褥瘡ケアセンター長・国立長寿医療研究センター特任研究員）

受講者：59 名（会員 57 名/一般 2 名）



② 入退院時の薬局と病院薬剤部の連携に関する調査事業

入退院時に薬局と病院薬剤部で使用する連携ツールを作成することとし、調査方法の検討を行った。

（３）後発医薬品の使用促進

① 県民向け使用促進

昨今の後発医薬品の確保が難しい状況を考慮し、リーフレットの内容の見直しを行った。

（４）医薬分業の質的向上

① 保険研修会の開催

ア 保険薬剤師のための保険研修会（基礎編）

日 時：令和 3 年 4 月 11 日（日）11:30～13:00

会 場：web 開催

内 容：適切な調剤業務・保険請求を行うために

講師 河野一規氏（田辺薬局）

受講者：74 名（会員 59 名/一般 15 名）

イ 保険薬剤師のための保険研修会（実践編）

日 時：令和 3 年 4 月 11 日（日）14:00～17:00

会 場：web 開催

内 容：・薬歴の書きかたの要点について

講師 三浦健太氏（こぐま薬局）

・（SGD）服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿の作成

病態と患者特性をアセスメントする～糖尿病・高血圧症～を例にと
って

進行 大岡元氏（医療・介護保険委員会委員）

受講者：48 名（会員 44 名/一般 4 名）



② 保険調剤の正しい理解のための研修会の開催

日 時：令和 3 年 11 月 14 日（日）14:00～15:40

会 場：web 開催

内 容：・保険調剤に関する喫緊の課題について

講師 小林弘忠氏（ガーデン薬局）

・調剤審査における指摘事項について

講師 藤本直樹氏（神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員）

・法的根拠から考える「薬局がしなくてはならない事・してはならない事」

講師 野田和多流氏（かもめ薬局北里健康館）

受講者：113 名（会員 104 名/一般 9 名）

③ 薬学管理料の効果調査

保険薬剤師のための保険研修会（実践編）の受講者に対し、研修前後の意識調査を実施した。研修効果による考察を行い、第 19 回かながわ薬剤師学術大会で発表した。

④ オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会の開催

日本薬剤師会提供コンテンツをオンライン配信する研修会を実施した。

日 時：令和 3 年 10 月 24 日（日）13:00～16:30

会 場：web 開催

内 容：・オンライン診療の適切な実施に関する指針と緊急避妊薬の調剤について
・オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点
・オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について

受講者：381 名（会員 98 名/一般 283 名）

⑤ 保険指導薬剤師打合せ会の開催

調剤報酬に関する情報を収集・共有し会員薬局に提供することで適切な保険請求を実施することを目的に打ち合わせ会を開催した。

日 時：令和 3 年 9 月 2 日（木）18:30～20:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：個別指導の事例研究

⑥ 社会保険指導担当者会議の開催

地域薬剤師会の社会保険担当者を対象に伝達講習を開催した。

日 時：令和 4 年 3 月 26 日（土）18:00～19:30

会 場：web開催

内 容：・令和 4 年度調剤報酬改定の概要および個別改定事項

講師 藤本直樹氏（医療・介護保険委員会委員長）

・令和 4 年度調剤報酬改定を踏まえた今後の取り組み

講師 川村幸久氏（医療・介護保険委員会副委員長）

受講者：58 名（会員 58 名/一般 0 名）

⑦ 薬剤交付支援事業

厚生労働省通知「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」等に基づき、新型コロナウイルス感染症のさらなる拡大防止や患者・医療従事者の感染リスクを避けることを目的に、電話や情報通信機器による服薬指導を実施した後に患者宅等に薬剤を配送する場合の配送料の支援を令和 2 年度に引き続き実施した。

実施期間：令和 3 年 4 月 1 日（木）～令和 4 年 2 月 28 日（月）

申請薬局数：1,539 薬局

申請金額：65,925,445 円

(5) 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援

外国籍県民や来県外国人が安心・安全に医薬品を適正使用するための支援を本会ホームページに継続して掲載した。

- ・「外国籍県民のための服薬情報提供文書」及び「外国籍県民向け一般用医薬品販売対応マニュアル」
- ・「多言語音声翻訳アプリ (VoiceTra)」及び「多言語医療問診票」

(6) 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実

地域薬剤師会及び職域薬剤師会が行う公益目的事業に対し、経費の一部を補助する公益目的事業補助金を交付するとともに、先導的事业に対して先導的事业委託金を交付した。

公益目的事業補助金：18 地域薬剤師会 交付額 19,781,000 円

先導的事业委託金：2 地域薬剤師会 交付額 1,090,000 円

(7) 健康サポート薬局関連事業の推進

「医薬品医療機器等法施行規則の一部を改正する省令」及び健康サポート薬局の基準告示（平成 28 年 2 月 厚生労働省）に基づき、日本薬剤師会との連携のもと、研修事業を実施した。

- ・神奈川県内健康サポート薬局登録数：174 薬局（令和 3 年 12 月 31 日現在）

① 健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会 A）

日 時：令和 3 年 7 月 25 日（日）9:00～13:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・健康サポート薬局の基本理念《DVD》

- ・健康サポート薬局の理念 ～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師
- ・神奈川県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待
- ・多職種や保険者など神奈川県内における取組事例
- ・神奈川県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源 他

受講者：71 名（会員 38 名/一般 33 名）

② 健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会 B）

日 時：令和 3 年 7 月 25 日（日）14:00～19:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・健康サポート薬局の理念 ～健康情報拠点としての覚悟～

- ・薬局利用者の状態把握と対応（演習）「頭痛」ほか

受講者：71 名（会員 31 名/一般 40 名）

③ 健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会 A）

日 時：令和 3 年 12 月 19 日（日）9:00～13:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・健康サポート薬局の基本理念《DVD》

- ・健康サポート薬局の理念 ～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師

- ・神奈川県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待
- ・多職種や保険者など神奈川県内における取組事例
- ・神奈川県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源

他

受講者：84名（会員54名/一般30名）

④ 健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会B）

日時：令和3年12月19日（日）14:00～19:00

会場：神奈川県総合薬事保健センター

内容：・健康サポート薬局の理念 ～健康情報拠点としての覚悟～

・一般用医薬品等を取り巻く現状

・薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応（演習）ほか

受講者：84名（会員61名/一般23名）

（8）その他

① 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症が引き続き拡大と縮小を繰り返す中で、感染拡大を防止し、地域で求められる医療を提供するために様々な取組が進められており、本会として、国や県の取組に積極的に協力するとともに、薬局・薬剤師等に必要な情報の提供や問い合わせへの対応等に努めた。主な取組は次のとおり。

ア 神奈川県への協力・調整及び地域薬剤師会等との調整

- ・自宅・宿泊療養者への内服ステロイド早期投与に係る卸売業協会及び県内主要6卸売業者との調整等、円滑な供給を図るための体制整備
- ・地域療養の神奈川モデルにおける休日対応の体制及び補助金整備等に係る調整
- ・経口抗ウイルス薬（ラゲブリオ®カプセル、パキロビッド®パック）の配分について、登録に係る周知・協力依頼、供給の役割を担う薬局の選定に係る調整
- ・神奈川県「早期薬剤処方」の指針に係る内容調整
- ・ゴールデンウィーク及び年末年始の医療提供体制の確保に係る調整、周知・協力依頼
- ・抗原定性検査キットの販売に係る調整、周知・協力依頼
- ・PCR等検査の無料化事業対応薬局に係る調整、周知・協力依頼

イ 厚生労働省への協力

- ・厚生労働省委託事業「薬剤交付支援事業」の実施（再掲）
- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金に係る周知

ウ 新型コロナウイルスワクチン接種に係る協力

- ・福祉施設等従事者に対するワクチン優先接種に係る周知・協力依頼
- ・神奈川県宅地建物取引業協会の職域接種（神奈川県歯科医師会主催）への協力

7 災害時医療救護活動に関する事業

(1) 災害時優先携帯電話を使用した訓練の実施

各地域薬剤師会の担当者が所持する災害時優先携帯電話について、組織会員委員会委員により令和4年1月17日～1月21日の期間に発信を中心とした通信訓練を実施した。

(2) 災害用備蓄品の整備

災害時における災害対策活動を迅速かつ円滑に実施するため、会館内の必要な資機材・生活必需品等を適正に配置するよう、定期的な確認を行った。また、災害備蓄品について、災害の有無を問わず消費期限を管理しながら新しい食材の入替・処分と非常用の照明器具等を整備した。

<災害用備蓄品整備一覧表>

No	種別	内容等 () 内は数量
1	飲料水	ミネラルウォーター500ml (600)
2	食品	レトルト白米 (50) 五目御飯類 (650) 缶詰類 (168) 缶入りベーカリーパン (72)
3	厨具用品類	カセットガスコンロ (2) カセットガスポンペ (750) 鍋 (2) 柄杓 (2) やかん (2) スチロール食器 (200) 割箸 (300) スプーン (300)
4	生活用品類	生理用品 (858) 紙パンツ (102) 非常用トイレ (500) トイレットペーパー (60)
5	寝具類	毛布 (110) 折り畳み式ベッド (23) 寝袋 (20)
6	防寒用品類	防災ヘルメット (30) 保温アルミシート (100) 使い捨てカイロ (300)
7	電灯・ラジオ等	ソーラー懐中電灯 (18) 手回し充電ラジオカセット・ランタン (23) 乾電池式懐中電灯 (2) ペンライト (30) スタンドライト (2) クリップライト (3)
8	医療用品類	緊急キット (43) サージカルマスク (3400) ディスポーザブル手袋 (6500)
9	機材・工具等	簡易カセットガス発電機 (3) 揚水用手動ポンプ (1) 工具セット (1) 吸水性土嚢 (50) ソーラー発電機一式 (1) カッター (4)

（３）災害時対応の整備

組織会員委員会の中で災害関係小委員会を２度開催し、大規模災害発生時における神奈川県薬剤師会災害時薬剤師活動マニュアルの見直しを行うとともに、神奈川県薬剤師会（神奈川県総合薬事保健センター）での初動についての検討を行い、「災害（震災）時の対応に関する手引き」を作成した。また、アクションカードによる対応（行動）について検討を行い、アクションカードの更新を行うとともに、令和４年度に向け、アクションカードを使用した訓練の実施について検討を行った。

Ⅱ 法人組織運営に関すること

(1) 総会、理事会等開催など

① 総会、理事会、常務理事会、正副会長会、地域・職域薬剤師会会長協議会、監査会など諸会議を開催した。

② 春秋会は開催中止となり、墓参のみ(12/2)を実施した。

③ 選挙の実施

令和3・4年度を任期とする理事及び監事の選挙を6月20日の通常総会において実施し、理事24名、監事2名が選任された。

また、令和3・4年度代議員・補欠の代議員選挙については、会長候補者選挙と理事・監事選挙を同一の代議員により選任することができるよう、これまで3月に実施していた選挙を初めて9月に実施し、代議員68名、補欠の代議員21名が選出された。

④ 日薬委員との意見交換会

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

⑤ 神奈川県三師会役員連絡協議会

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

⑥ 神奈川県薬業団体新年賀詞交換会

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(2) 組織強化と財務の健全化

① 公益法人制度への対応

公益社団法人としての定期提出書類「令和2年度事業報告等」「令和3年度補正予算」「令和4年度事業計画等」を神奈川県公益法人認定委員会へ提出し、受理された。

② 公益法人認定法等に基づく立入検査の受検(10/14)

令和3年10月14日(木)、公益法人認定法等に基づく神奈川県の立入検査が実施され、口頭による指導以外は適正に運営していると認められた。

③ 日本薬剤師会会費の徴収を行うための事業連携協力に関する覚書を締結した。

④ 令和4年度公益法人運営特別会費及び保険薬局分担金ランクの申告調査を実施した。

会員薬局 2,316店舗、非会員薬局 205店舗(依頼1,464件1,665店舗)

⑤ 保険薬局分担金を納入いただいた保険薬局100店舗に謝礼として薬壺1年分を送付するとともに、入会促進を行った。

(3) 会員管理

① 県薬会費・公益法人運営特別会費及び日薬会費の請求書を送付した。

・口座振替1回(6月)

・コンビニ収納等による会費等の請求3回(8月・10月・2月)

② 入会申請に係る入会審査を48回実施し、316名を承認した。(前年度:345名)

③ 会員規程で定めた手続きにより、会員の登録を行った。

- ④ 日本薬剤師会へ会員の異動データを作成し、報告した。
- ⑤ 会誌「薬壺」神奈川県薬剤師会入会者紹介ページに、本人の承諾が得られた新規入会会員の氏名、所属、所属所在地を掲載した。
- ⑥ 薬局医薬品製造業許可者を対象に副作用払出金・安全対策等払出金の申告及び納入業務を行った。202 件（令和 3 年 6 月～ 9 月）
- ⑦ 薬壺 1・2 月号にメールアドレス登録について案内を同封し、会員のメールマガジン登録促進を行った。
- ⑧ 会員管理システムにメールマガジン配信区分の機能追加等を行った。
- ⑨ 会費未納者及び行方不明者について、規程に沿って会員資格喪失の処理を行った。
- ⑩ 入会を促進、会員の増大を図るため、7 月に鎌倉市薬剤師会了承のもと、同薬剤師会会員あてに本会入会案内を送付し、入会勧誘を行った。（3 名入会）
また、組織会員委員会にて他の地域薬剤師会へも同様の協力依頼を行い、令和 4 年度に各地域薬剤師会会員に向けて入会促進を実施できるよう調整を行った。
- ⑪ 神奈川県薬剤師会会員増強対策として、保険薬局分担金を納入いただいた保険薬局及び薬学生を対象とした入会促進企画案を考案し、実現に向けて検討を行った。

Ⅲ 共益事業

(1) 薬剤師の生涯学習の推進

① 生涯研修プロバイダー（認定薬剤師研修制度）の運営

本会では、平成 23 年度から独自の生涯学習認定制度を運営していたが、平成 29 年 3 月に公益社団法人薬剤師認定制度認証機構の認証を取得し、生涯研修プロバイダーとして、事業を実施している。

ア 認証の情報

認 証 番 号 G21

初回認証期日 平成 29 年 3 月 10 日

更 新 期 日 令和 2 年 3 月 6 日（1 回目）

有 効 期 限 令和 8 年 3 月 9 日

イ 認定者の状況

令和 3 年度認定者数 10 名（新規 2 名／更新 8 名）

通算認定者数 43 名

ウ 研修事業調整会議

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

エ 認定要件「地域保健活動」の特例措置の検討

新型コロナウイルス感染症による特例措置および生涯学習認定制度規程細則を令和 4 年 3 月 11 日付け一部改正した。

② 生涯学習認定制度の普及促進

ア 各研修会で認定制度の周知等を実施した。

- ・研修会場での生涯学習認定制度の説明
- ・研修申請手順書の配付

イ 会誌「薬壺」に情報を掲載した。

ウ 本会ホームページに情報を掲載した。

エ 認定薬剤師認証研修機関協議会の運営するサイト「認定薬剤師.com」に情報を掲載した。

オ 令和 2 年度に策定した「新型コロナウイルス感染症に配慮した研修会等の開催指針」を一部改正し、集合研修会やオンライン研修会の安全面に配慮した運営を推奨した。

カ 令和 4 年度に向けて、実施団体と企業等が計画・実施する共催研修会（D 連携型）の検討を行い、地域の研修実務担当者向けの説明会及び情報交換会を企画した。

③ 学習環境の整備

日本薬剤師会が作成した「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード」に基づき各種研修などを企画、開催した。

ア 認定研修会の開催〈別表1「令和3年度認定研修会 受講者数一覧」参照〉

	件数	内訳		
年間企画数	36	延期 0	中止 2	統合 1
開催数	33	A認定型 ^{※1} 20	B依頼型 ^{※2} 5	C提案型 ^{※3} 8
		集合 2	集合 1	集合 0
		web 18	web 4	web 8
受講者数	2,120	会員 1,975	一般 145	

※1「A認定型」 本会各委員会が企画・運営する研修

※2「B依頼型」 本会各委員会が企画し、地域薬剤師会などと共催する研修

※3「C提案型」 地域薬剤師会などが提案する共催研修

イ 研修会共通アンケート

研修事業の現状と課題を統一した指標で評価し、事業内容の更なる充実を図るため、研修会終了後に実施している共通アンケートに「生涯学習記録」記載時に研修会記録として活用することを目的とした新項目を追加した。

ウ 共催研修事業（C提案型）の視察

- ・ 7/29 アンチ・ドーピング研修会（相模原）
- ・ 8/20 第10回 TYP-Net〈鶴見若手薬剤師勉強会〉（鶴見区）
- ・ 9/17 第11回 TYP-Net〈鶴見若手薬剤師勉強会〉（鶴見区）
- ・ 10/23 第5回 神奈川吸入療法ステップアップセミナー（吸入療法のステップアップをめざす会）
- ・ 11/27 第2回 鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会（鶴見・神奈川区）
- ・ 2/5 第6回 神奈川吸入療法ステップアップセミナー（吸入療法のステップアップをめざす会）
- ・ 2/6 アンガーマネジメント研修会（応用編）（港南区）
- ・ 2/13 第3回 鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会（鶴見・神奈川区）

④ 関係機関との連携

ア 薬剤師認定制度認証機構（CPC）

(ア) 定時社員総会

日 時：令和3年6月25日（金）

会 場：web 開催

出席者：小川会長

(イ) 臨時社員総会

日 時：令和3年8月16日（月）

会 場：書面審議

出席者：小川会長

イ 認定薬剤師認証研修機関協議会 (CAPEP)

(ア) 第 26 回認定薬剤師認証研修機関協議会

日 時：令和 3 年 6 月 19 日 (土)

会 場：web 開催

幹 事：神奈川県薬剤師会 (G21)

(イ) 第 27 回認定薬剤師認証研修機関協議会

日 時：令和 4 年 1 月 22 日 (土) 14:00～17:00

会 場：web 開催

幹 事：学校法人京都薬科大学 (G24)

⑤ 学習活動への支援

ア 本会企画研修会

(ア) 薬剤師倫理研修会

日 時：令和 3 年 8 月 22 日 (日) 13:00～16:15

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・コロナ禍における薬剤師に求められる倫理観とは

講師 高橋洋一氏 (横浜薬科大学客員教授・東邦大学非常勤講師)

・(SGD) ケーススタディー

受講者：30 名 (会員 29 名/一般 1 名)

(イ) 薬剤師倫理研修会

日 時：令和 3 年 11 月 7 日 (日) 13:30～16:45

会 場：web 開催

内 容：最近の身近な事例から薬剤師倫理を考える

講師 鈴木順子氏 (北里大学名誉教授)

・(SGD) ケーススタディー

受講者：36 名 (会員 34 名/一般 2 名)

(ウ) 研究倫理研修会

日 時：令和 4 年 2 月 10 日 (木) 19:00～20:45

会 場：web 開催

内 容：薬剤師の研究と倫理審査

講師 飯嶋久志氏 (千葉県薬剤師会薬事情報センター長)

受講者：46 名 (会員 45 名/一般 1 名)

イ 共催研修会 (依頼型)

(ア) 薬剤師倫理研修会

共 催：川崎市薬剤師会

日 時：令和 3 年 6 月 13 日 (日) 13:30～16:45

会 場：川崎市中原歯科保健センター

内 容：・新入局薬剤師と経験豊かな薬剤師とのギャップ

～倫理観を共有するには～

講師 鈴木順子氏 (北里大学名誉教授)

- ・(SGD) ケーススタディー

受講者：34名（会員33名/一般1名）

(イ) 新任薬剤師研修会

共 催：厚木薬剤師会

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

ウ 新任薬剤師研修会

日 時：令和3年7月4日（日）13:00～16:35

会 場：web 開催

内 容：・リスクマネジメントについて

講師 三堀賢太郎氏（中央堂伊勢原薬局）

- ・薬剤師倫理について

講師 小橋紀子氏（汐田薬局）

- ・適正な保険請求（算定要件）について

講師 福嶋仁氏（くすりサガミ薬局）

- ・法的根拠から考える「薬局がしなくてはならない事・してはならない事」

講師 大岡元氏（大岡薬局）

受講者：40名（会員35名/一般5名）

エ 薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～の開催

日 時：令和3年12月11日（土）15:00～18:15

会 場：web 開催

内 容：

- 薬局開設者・管理者等が遵守すべき法令について

- ・処方箋から読み取れる情報、患者から聞き出せる情報、対応は如何に！

講師 柳川忠二氏（関東信越厚生局神奈川事務所）

- ・問題のある保険請求について

講師 阿部正隆氏（神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員）

- 社会から評価される倫理観のある薬局薬剤師になるためには

- ・公衆衛生・学薬委員が考える倫理観

講師 神原大輔氏（太陽堂薬局）

- ・地域保健委員が考える倫理観

講師 大島崇弘氏（大島薬局）

- ・総括 高橋洋一氏（横浜薬科大学客員教授・東邦大学薬学部非常勤講師）

受講者：90名（会員89名/一般1名）

⑥ 生涯学習認定制度事業運営・管理

生涯学習認定制度の運営体制（研修カリキュラムへの対応等）を維持・支援するために、必要な企画・運営調整スキル向上を目的とした研修会等へ参加することとしていたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により参加を見送った。

⑦ 講師派遣事業等

県内外の患者や生活者が満足する質の高いサービスを提供できる人材を育成することを目的として、神奈川県内の地域・職域薬剤師会等が実施する研修に講師を派遣するなど支援している。

今年度はEBM研修会（基礎編）について、本会が派遣講師を選定し、地域薬剤師会との共催研修会を企画開催した。

日 時：令和3年12月19日（日）13：00～16：30

会 場：web 開催

共 催：川崎市薬剤師会、相模原市薬剤師会

内 容：EBMの5ステップ

- ・患者にとって重要な臨床上の問題の定式化
- ・問題解決のための情報収集
- ・得られた情報の批判的吟味
- ・情報の患者への適用
- ・評価についての解説

医療用医薬品製品情報概要（パンフレット）を用いた批判的吟味の演習

講 師：南郷栄秀氏（聖母病院総合診療科）

五十嵐俊氏（横浜市立市民病院感染管理室）

⑧ 啓発資材等の作製

かながわ薬剤師学術大会や集合研修会時にチラシを配布し、生涯学習認定制度の周知を行ってきたが、web 開催が普及している状況から、生涯学習認定制度の普及促進の方法を検討するための会員向けのアンケートを実施するとともに、研修会等の開始前に周知する動画の作製を行った。



⑨ 学習用 DVD 作製

薬剤師倫理について学ぶ機会を増やすために学習用 DVD 作成を次年度作成に向け、継続検討している。

別表 1

令和3年度認定研修会 受講者数一覧

(令和3年4月～令和4年3月)

No.	研修名	日程		時間	会場	受講者数		
						総数	会員数	非会員
1	新任薬剤師研修会（厚木市）【開催中止】	7月11日	日	—	—	—	—	—
2	セルフメディケーション研修会 ～各論編（薬局製剤編）～【開催中止】	2月6日	日	—	—	—	—	—
3	漢方の理解促進に関する研修会～薬剤師編～ 【第19回かながわ薬剤師学術大会内開催統合】	11月23日	火・祝	—	—	—	—	—
4	保険薬剤師のための保険研修会「基礎編」	4月11日	日	11：30～13：00	web開催	74	59	15
5	保険薬剤師のための保険研修会「実践編」	4月11日	日	14：00～17：00	web開催	48	44	4
6	セルフメディケーション研修会～総論編～ 「くすり与健康相談薬局」相談力向上研修会	4月18日	日	14：00～17：30	web開催	51	50	1
7	公衆衛生研修会（学校環境衛生編）	5月16日	日	14：00～16：30	web開催	45	44	1
8	薬物乱用防止研修会	5月30日	日	14：00～16：40	web開催	56	54	2
9	薬剤師倫理研修会（川崎市）	6月13日	日	13：30～16：45	川崎市中原歯科保健センター	34	33	1
10	新任薬剤師研修会	7月4日	日	13：00～16：35	web開催	40	35	5
11	公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）	7月18日	日	10：00～11：50	web開催	28	26	2
12	アンチ・ドーピング研修会（相模原市）	7月29日	木	19：30～21：20	web開催	76	75	1
13	公衆衛生研修会①	8月1日	日	14：00～16：25	web開催	63	60	3
14	第10回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）（鶴見区）	8月20日	金	19：15～21：00	web開催	23	23	0
15	薬剤師倫理研修会	8月22日	日	13：00～16：15	神奈川県総合薬事保健センター	30	29	1
16	S D G s 研修会	9月5日	日	13：00～16：30	神奈川県総合薬事保健センター	29	29	0
17	セルフメディケーション研修会～実例編～ 「くすり与健康相談薬局」取り組み紹介研修会	9月12日	日	14：00～15：45	web開催	80	79	1
18	第11回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）（鶴見区）	9月17日	金	19：15～21：00	web開催	24	20	4
19	認知症対応力向上研修会	9月26日	日	13：00～17：00	web開催	112	94	18
20	公衆衛生研修会②	10月3日	日	14：00～16：25	web開催	61	61	0
21	第5回神奈川吸入療法ステップアップセミナー	10月23日	土	19：00～21：00	web開催	38	27	11
22	褥瘡治療薬サミットinかながわ2021	10月31日	日	13：00～16：40	web開催	59	57	2
23	薬剤師倫理研修会	11月7日	日	13：30～16：45	web開催	36	34	2
24	保険調剤の正しい理解のための研修会	11月14日	日	14：00～15：40	web開催	113	104	9
25	第19回かながわ薬剤師学術大会（1日目）	11月20日	土	15：00～18：45	web開催	328	304	24
	第19回かながわ薬剤師学術大会（2日目）	11月21日	日	9：00～16：30	web開催			
26	第2回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会（鶴見区）	11月27日	土	19：20～21：00	web開催	42	40	2
27	第1回在宅医療研修会	12月5日	日	13：00～15：15	web開催	88	85	3
28	薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～	12月11日	土	15：00～18：15	web開催	90	89	1
29	EBM研修会（基礎編）（川崎市・相模原市）	12月19日	日	13：00～16：30	web開催	41	40	1
30	栄養研修会	1月23日	日	14：00～16：00	web開催	62	62	0
31	第6回神奈川吸入療法ステップアップセミナー	2月5日	土	19：00～21：00	web開催	41	20	21
32	アンガーマネジメント研修会（港南区）	2月6日	日	13：00～16：35	web開催	22	21	1
33	研究倫理研修会	2月10日	木	19：00～20：45	web開催	46	45	1
34	公衆衛生研修会③	2月13日	日	14：00～16：30	web開催	66	64	2
35	第3回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会（鶴見区）	2月13日	日	14：00～15：30	web開催	45	44	1
36	プレアボイド合同研修会	3月3日	木	19：00～20：50	web開催	129	124	5
合 計						2,120	1,975	145

(2) リスクマネジメント等事業

① 薬局プレアボイドの事例収集の実施

薬剤師は、薬物治療において患者の安全を守るための重要な立場にあり、薬局プレアボイド事業は、その業務の「見える化」を図るために極めて有効な事業と考えて、事例収集事業を実施した。

第7回薬局プレアボイド報告キャンペーンの実施

期間：令和3年10月1日（金）～10月31日（日）

期間を含む令和3年度10月末までの報告数：232件

② プレアボイド合同研修会

日 時：令和4年3月3日（木）19:00～20:50

会 場：web 開催

共 催：神奈川県病院薬剤師会

内 容：・2020年度神奈川県病院薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演
・2020年度神奈川県薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演

受講者：129名（会員 64名／一般 5名）（県病薬会員 60名）

③ プレアボイドweb報告システムの運用

昨年度、薬局プレアボイド報告の簡略化、収集事例の分析解析を目的にSalesforceを活用したweb報告システムを構築し、令和3年4月より運用を開始した。



④ 調剤事故防止・発生時マニュアル第3版の作製

平成25年に作製した第2版の会員への配付から5年以上経過したことから、第3版を作製し会員へ配布するため、改訂の準備を行った。

⑤ 2021 県下統一調剤事故防止研修会

開催団体：地域薬剤師会 30 団体

開催時期：令和3年11月～令和4年3月

内 容：・薬局プレアボイドweb報告システム、報告キャンペーンについて
・偽造処方箋、多重受診の対応について
・行政に寄せられた薬局に対する意見・苦情、注意事項等

受講者：882名

⑥ 調剤事故防止検討会の開催

日 時：令和4年2月3日（木）18:00～19:00

会 場：web 開催

内 容：実際の調剤事故事例解説 等

⑦ リスクマネジャー会議の開催

調剤事故等の減少などのため、各地域のリスクマネジャーを集めた会議を開催し、情報交換等を行った。

ア 第1回リスクマネジャー会議

日 時：令和3年7月15日（木）19:30～20:35

会 場：web 開催

内 容：・リスクマネジャーの役割について

講師 村上和宣氏（リスクマネジメント委員会副委員長）

・薬局プレアボイド web 報告システム・事例集について

講師 三堀賢太郎氏（リスクマネジメント委員会委員）

・情報交換

イ 第2回リスクマネジャー会議

日 時：令和3年9月16日（木）19:30～20:35

会 場：web 開催

内 容：・プレアボイド web 報告システム、報告キャンペーンについて

講師 小川亮子氏（リスクマネジメント委員会委員）

・偽造処方箋、多重受診の対応について

講師 伊藤啓氏（神奈川県薬剤師会常務理事）

・情報交換

⑧ SDGs 研修会の開催

リスクマネジメントの本質は、社内・社外の環境変化を捉え、自社の目標を達成するための機会や損失発生の可能性を把握し、必要な対策を講じることである。SDGs の視点でリスクマネジメントを考え、社会変化を適切に捉え、時代に即した形で変化し、経営戦略に反映させていくことが、今後の薬剤師として、企業経営者として必要であると考え、研修会を開催した。

日 時：令和3年9月5日（日）13:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・SDGs 体験プログラム「カードゲーム 2030SDGs」

・企業と SDGs の関わり方～リスクマネジメントの視点～

講師 城宝薫氏（㈱テーブルクロス CEO）

受講者：29名（会員 29名/一般 0名）

(3) 広報事業

① 広報推進事業

県民向けPR媒体の検討

薬局・薬剤師の機能・職能を一般県民に広くPRするために、公益社団法人神奈川県薬剤師会ソーシャルメディア公式アカウントとして、2月にFacebookとInstagramを開設し、それぞれ4件の投稿を行った。また、令和4年度にはYouTubeによる薬剤師の活動PR動画を配信できるよう検討を行った。

<令和3年度ソーシャルメディア投稿結果>

投稿日	投稿内容	投稿者	Facebook	Instagram
2/15	アカウント開設挨拶	広報委員会	○	○
2/22	献血推進活動PR	広報委員会	○	○
2/28	献血推進活動報告	公衆衛生・学薬委員会	○	○
3/8	薬局プレイアボイド紹介	リスクマネジメント委員会	○	○
			4件	4件

② 会誌「薬壺」発行事業

薬剤師の学術的資質の向上を促すとともに薬学・薬業の進歩発展に寄与するため、会誌「薬壺」を発行し、薬学・医学領域に関する情報や医薬品情報、厚生労働省・神奈川県の動向、薬業界の話題等を掲載した。

- ・発行：6回（隔月奇数月）各4,600部
- ・配先先：会員、各都道府県薬剤師会、保健所、薬科大学、新聞社 他
- ・掲載内容等：

発行月号	頁数	薬壺編集（広報出版）委員会企画記事
5・6	75	① ワクチン接種伝達説明会について ② 局方記載のトウキについて ③ 文章表現論（第6回） ④ 新薬紹介
7・8	61	① 予防と処方箋の監査・適正化こそが薬剤師の使命 ② 国際薬剤師・薬学連合 声明文 ③ 菅総理大臣訪問 ～新型コロナウイルスワクチン集団接種への 薬剤師の協力体制について～ ④ 書評 日本社会の処方箋 20年後の安心のために ⑤ 文章表現論（第7回）
9・10	65	① 世界薬剤師の日 ② 文章表現論（第8回） ③ 新薬紹介

発行月号	頁数	薬壺編集（広報出版）委員会企画記事
11・12	55	①文章表現論（第9回） ②新薬紹介
1・2	73	①新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療薬について ②速報！かながわ薬剤師学術大会 ダイジェストレポート ③文章表現論（最終回） ④新薬紹介
3・4	82	①座談会 コロナ禍で私たち薬剤師が直面している課題は何か？ これからの薬剤師の未来を考える ②薬害関連収集検討事業 薬害の歴史について 薬害スモン ③第19回かながわ薬剤師学術大会報告（優秀賞紹介） ④新薬紹介

薬壺送付用封筒をリニューアルし、薬壺3・4月号送付分より使用を開始した。



〈薬壺送付用封筒〉

また、創刊号からの薬壺等を次のとおりホームページに公開した。

会 報：大正15年6月（第1号）～皇紀2603年6月（第35号） 39冊分
（昭和18年）

薬 壺：昭和27年10月（第1号）～平成2年3月（第61号） 59冊分

県薬会報：昭和53年5月（第1号）～平成3年2月（第154号） 154冊分

③ ホームページ運営事業

ホームページの会員ページにおいて、会議報告、会員への通知・ツール等のダウンロード及び学校薬剤師の業務関係ファイル等を公開して会員の利便性に資する活動を行った。

会員に対する情報の充実や利便性、また、広く県民の理解が得られるよう、令和5年度のホームページリニューアルに向けて、他都道府県薬剤師会のホームページの調査を行った。中でもホームページが見やすく充実している三重県薬剤師会と2月に打合せ会を実施し、ホームページ作成に関する情報収集を行った。

また、ホームページ運営管理規程の策定や投稿基準等の整理を行い、現ホームページから新ホームページの移行に向けて準備を行った。

④ メールマガジン発信事業

新型コロナウイルス感染症関連情報、研修会案内等、77 件の情報を配信した。

主な内容は次のとおり。

4 月 16 日号 令和 3 年度薬局における薬剤交付支援事業について

4 月 23 日号 ゴールデンウィークにおける医療提供体制確保に係る協力金について

6 月 11 日号 「AMR 対策に関する抗菌薬使用量調査の地域における検討」 ご協力のお願い

8 月 3 日号 神奈川県薬剤師会 研修会のご案内

9 月 28 日号 新型コロナウイルス感染症流行下における薬局での医療用抗原検査キットの取扱いについて

10 月 15 日号 第 19 回かながわ薬剤師学術大会 是非ご参加ください（お知らせ）

12 月 14 日号 【神奈川県より】ワクチン・検査パッケージにおける PCR 検査等無料化事業について

2 月 25 日号 薬局における自宅療養等の患者に対する薬剤交付支援事業の実施について（速報）

3 月 30 日号 令和 4 年度調剤報酬改定について（お知らせ）

（４）会員に向けた各種支援

- ① 薬局・医薬品販売業、医薬品製造業・製造販売業、毒劇物登録、高度管理医療機器販売業等の更新申請書を送付した。（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月、364 店舗・509 件）
- ② 日本薬剤師賠償責任保険（個人情報漏えい保険）、日本薬剤師会薬剤師年金、アンチ・ドーピング活動保険の加入希望者にパンフレットを送付した。
- ③ 薬剤師賠償責任保険加入手続きに伴う、日薬からの会員登録確認に対応した。
- ④ 麻薬取扱者免許の継続申請及び令和 3 年麻薬年間届を所轄保健所へ提出するよう該当者へ申請書類等を送付した。1,827 件（令和 3 年 9 月）
- ⑤ 薬剤師の就労支援対策については、コロナ禍において一時的ではあるものの、必要性が低下したため休止とした。

IV 収益事業

(1) 会議室等賃貸事業

横浜市薬剤師会等 9 団体（4 階）、ヴェオリア・ジェネッツ㈱（1・5 階）、㈱矢野建築設計事務所（3 階）に引き続き事務室を賃貸した。

また、会議室利用状況は、令和 4 年 3 月末で合計 842 件であり、前年度同日期 704 件と比べて増加した。〈別表 2〉

(2) 書籍等販売事業

薬事関係図書の斡旋販売及び用紙等の販売を行った。

- ・薬事関係図書の斡旋販売：70 件（1,298 冊）
- ・用紙等販売：223 件（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月） 〈別表 3〉

令和3年4月～令和4年3月会場利用状況

	部屋	ホール			301号室			302号室			303号室			304号室			305号室			306号室			307号室			合計				前年度							
月	時間	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	①計	②利用可能回数※	利用率①/②	計	利用率							
4月	外部	0	0	1	1	0	12	0	12	0	0	0	1	3	4	0	1	3	4	1	0	2	3	1	0	0	1	25	588	4%	2	0%					
	内部	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7	1	1	3	5	1	2	3	6	1	2	3	6	1	1	2	4	27	588	5%	0	0%				
5月	外部	3	3	2	8	1	9	1	11	1	2	0	3	1	1	0	2	1	1	0	2	1	2	0	3	1	0	0	1	30	525	6%	18	3%			
	内部	0	0	1	1	1	1	0	2	1	3	1	5	0	2	0	2	1	3	3	7	1	3	3	7	4	14	8	26	525	5%	6	1%				
6月	外部	2	3	0	5	1	8	1	10	0	0	0	0	3	1	4	0	3	1	4	0	4	3	7	0	3	3	6	36	630	6%	29	5%				
	内部	1	1	1	3	0	0	0	0	2	5	2	9	0	1	2	3	0	1	2	3	1	2	1	4	1	2	1	4	26	630	4%	13	2%			
7月	外部	5	5	2	12	1	11	0	12	0	0	0	1	1	0	2	1	1	0	2	0	1	2	3	0	0	1	1	32	630	5%	7	1%				
	内部	2	4	3	9	1	1	1	3	2	2	3	7	2	2	3	7	2	1	3	6	2	1	4	7	13	13	20	46	630	7%	59	9%				
8月	外部	0	0	0	0	0	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8	651	1%	10	2%					
	内部	2	2	1	5	0	0	0	0	2	2	4	3	4	4	11	3	4	4	11	1	2	3	6	1	2	3	6	10	16	17	43	651	7%	28	4%	
9月	外部	1	2	1	4	0	8	0	8	0	1	2	3	2	2	0	4	2	2	0	4	1	1	1	1	3	6	16	8	30	630	5%	20	3%			
	内部	0	2	1	3	0	0	0	0	4	2	6	0	1	1	2	0	1	2	0	2	6	8	0	2	6	8	0	12	17	29	630	5%	41	7%		
10月	外部	12	14	2	28	2	10	0	12	1	1	0	2	2	1	2	5	2	1	2	5	1	4	1	6	0	1	1	2	60	651	9%	27	4%			
	内部	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	4	10	2	4	4	10	0	3	5	8	0	3	4	7	6	18	21	45	651	7%	24	4%				
11月	外部	11	15	4	30	1	11	0	12	0	0	0	1	1	0	2	1	1	0	2	2	3	0	5	1	1	0	2	17	32	4	53	630	8%	35	6%	
	内部	1	2	2	5	1	2	0	3	1	2	1	4	3	5	4	12	3	5	4	12	2	3	2	7	2	3	1	6	13	22	14	49	630	8%	86	14%
12月	外部	5	5	2	12	0	9	0	9	0	0	0	0	2	1	0	3	2	1	0	3	1	5	3	9	1	1	1	3	11	22	6	39	567	7%	29	5%
	内部	2	2	2	6	1	1	1	3	1	3	1	5	0	2	3	5	1	3	4	8	1	3	4	8	6	16	19	41	567	7%	41	7%				
1月	外部	10	8	1	19	2	10	0	12	1	1	0	2	1	1	0	2	1	1	0	2	3	4	0	7	2	2	0	4	20	27	1	48	546	9%	57	10%
	内部	0	0	1	1	0	1	1	2	0	1	0	1	0	1	2	3	0	1	2	3	0	2	3	5	0	2	3	5	0	8	12	20	546	4%	35	6%
2月	外部	5	5	2	12	1	8	2	11	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	10	13	4	27	609	4%	40	7%	
	内部	1	1	0	2	1	0	0	1	0	3	2	5	0	0	4	4	0	0	4	0	2	0	2	0	2	0	2	2	8	10	20	609	3%	26	4%	
3月	外部	2	2	2	6	7	13	0	20	0	0	0	0	3	1	2	6	3	1	2	6	2	6	2	10	1	3	2	6	18	26	10	54	651	8%	54	8%
	内部	2	2	3	7	0	0	1	1	0	1	2	3	1	0	3	4	1	0	3	4	1	0	4	5	0	4	4	5	3	20	28	651	4%	17	3%	
合計	外部	56	62	19	137	16	116	4	136	3	5	2	10	14	13	8	35	14	13	8	35	13	29	17	59	8	12	10	30	124	250	68	442	7,308	6%	328	5%
	内部	11	16	15	42	5	6	4	15	9	36	21	66	12	23	33	68	12	23	33	68	10	25	37	72	9	24	36	69	68	153	179	400	7,308	6%	376	5%

内部は県薬剤師会の利用分

※利用可能回数：1日3回(午前・午後・夜間)×7室×その月の日数(年末年始、メンテナンス等を除く)

(利用率は小数点以下を四捨五入する)

月	用 紙										幹 旋 書 籍					
	現金		発 送				合 計				件数	冊数	金額	送料	計	幹旋手数料
	件数	金額	件数	金額	送料	計	件数	金額	送料	計						
4月	5	7,900	13	106,700	7,860	114,560	18	114,600	7,860	122,460	8	14	94,123	4,810	98,933	3,457
5月	4	6,710	22	63,560	11,660	75,220	26	70,270	11,660	81,930	3	6	58,950	2,200	61,150	1,650
6月	5	1,870	7	13,190	2,870	16,060	12	15,060	2,870	17,930	1	22	65,340	0	65,340	4,840
7月	2	2,560	8	24,070	4,440	28,510	10	26,630	4,440	31,070	1	1	2,750	550	3,300	220
8月	1	880	17	30,230	7,000	37,230	18	31,110	7,000	38,110	2	6	54,730	1,650	56,380	1,650
9月	6	5,640	19	35,620	9,370	44,990	25	41,260	9,370	50,630	0	0	0	0	0	0
10月	8	9,350	9	37,840	4,520	42,360	17	47,190	4,520	51,710	0	0	0	0	0	0
11月	6	5,500	12	34,540	5,520	40,060	18	40,040	5,520	45,560	1	14	38,500	0	38,500	3,080
12月	6	15,820	14	46,640	6,700	53,340	20	62,460	6,700	69,160	1	4	46,700	1,100	47,800	990
1月	5	8,360	12	26,730	5,520	32,250	17	35,090	5,520	40,610	3	46	204,182	0	204,182	11,718
2月	1	880	20	112,350	11,190	123,540	21	113,230	11,190	124,420	41	1,152	4,700,600	9,430	4,710,030	254,930
3月	6	6,490	15	50,380	7,664	58,044	21	56,870	7,664	64,534	9	33	137,650	2,200	139,850	7,260
合計	55	71,960	168	581,850	84,314	666,164	223	653,810	84,314	738,124	70	1,298	5,403,525	21,940	5,425,465	289,795

その他

神奈川県薬剤師研修協議会事業（神奈川県薬剤師研修協議会）

公益財団法人日本薬剤師研修センターから委託された研修認定薬剤師制度の認定事務の一部を行った。令和3年4月～令和4年3月の実績は次のとおり。

① 認定薬剤師申請業務

受付件数：1,980件

申請件数：2,025件

② 認定薬剤師認定証発送業務

発送件数：2,304件（内訳：新規1,171件、更新1,133件）

地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業

日本薬剤師会からの依頼に基づき、一般社団法人日本医療薬学会が行っている「地域薬学ケア専門薬剤師認定制度」について、研修希望者と研修先（基幹施設：病院）の調整を図るマッチング業務を受託し行った。

① 地域薬学ケア専門薬剤師研修調整委員会の設置

委員 橋本真也、竹内尚子、小松敏彰

実施方法 Eメールによる書面会議

② マッチング結果

項目	人数等	内 訳	
		地域薬学ケア専門薬剤師	同 副領域：がん
1. 申請者	2名	—	2名
2. 受入状況	2施設7名	1施設3名	2施設4名
3. マッチング成立者	2名	—	2名
4. マッチング不成立者	名	—	名

令和3年度 公益社団法人 神奈川県薬剤師会 事業計画

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が県民の健康な生活に大きな不安を与えるとともに、本会事業の推進にも大きな影響が続いています。令和2年度においては、委員会・研修会の開催中止を余儀なくされる一方で、webを活用した委員会・研修会の開催など迅速な対応により、一定の成果を上げることができました。

令和3年度においては、未だ新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況ではありますが、そうした中でも、令和2年度に縮小・中断した事業をカバーしつつ、公益社団法人として地域医療の確保、公衆衛生の維持など本会に求められている使命を積極的に果たすため、新たな事業手法を確立・定着させるための1年としていく必要があります。

また、改正医薬品医療機器等法が令和2年9月に一部施行され、薬剤師には他の医療職種と連携しつつその専門性を発揮し、県民に安全かつ有効な医薬品の供給を果たすことが求められていることから、くすりと健康相談薬局の認定数の拡大を図るとともに、薬剤師及び薬局の機能をサポートしていくための新たな施策の展開にも取り組んでいく必要があります。

また、令和3年8月には同法に基づき「地域連携薬局」と「専門医療機関連携薬局」が新たに導入され、患者自身が自分に適した薬局を選択できるよう、特定の機能を強化した薬局を都道府県が認定することとなります。こうした中で、その認定をめざす薬局の取組を支援する必要があります。とりわけ「地域連携薬局」は、かかりつけ薬剤師・薬局を普及・促進するものとして先行導入した「くすりと健康相談薬局」の機能に対応するものであり、本会として積極的に取り組んでいく必要があります。

一方で、上記のような取組をより一層強化していくためには、新規会員の確保を図るとともに、新たな事業展開に合わせた必要な委員会の改編・整備を行い、本会の活動基盤をより一層強固なものとしていかなければなりません。

こうした基本スタンスに立って、令和3年度の事業の推進にあたっては、新型コロナウイルスの状況の変化に柔軟に対応できるよう、新たな工夫を凝らした事業の展開を図るとともに、次に掲げる事業を重点的に推進していくこととします。

- 1 会員がより参加しやすい研修会の開催など web の活用を発展させるとともに、機材の整備、会館の貸室利用の弾力化はもとより、web 活用のための人材育成を図ることにより、生涯学習認定制度に基づく研修事業について、認証プロバイダーとしての強みを活かしつつ充実強化を図ります。
- 2 地域薬剤師会の web 研修開催への支援、地域薬剤師会との共催研修の充実、各種会員サービスの向上に取り組めます。
- 3 令和2年度の開催が見送られた「かながわ薬剤師学術大会」については、実施会場を含めてこれまでの実施方法を大幅に見直し、コストの大幅削減を図りつつ、実効性のある大会を目指します。

- 4 改正医薬品医療機器等法の施行を踏まえ、くすりと健康相談薬局の認定拡大を図り、当初設定した認定目標 500 薬局のうち、令和 3 年度中に 300 薬局を達成するとともに、かかりつけ薬剤師及び薬局の機能をサポートしていくための新たな施策の展開にも取り組みます。
- 5 薬局と薬剤師の質の向上を図るため、「くすりと健康相談薬局」「生涯学習認定制度」等を活用し、薬局、薬剤師の責務を果たすことのできる事業を展開します。
- 6 神奈川県等と共催で薬物乱用防止の街頭キャンペーンを実施するとともに、学校薬剤師が中心となって県下の児童・生徒を対象とした薬物乱用防止教室を開催することにより、青少年の間に増加しつつある薬物乱用の撲滅を図るための啓発事業などを積極的に行います。
- 7 学術調査研究を推進し、県民、行政、関連団体に対し、エビデンスに基づいた薬剤師職能を示します。
- 8 県下一斉相談週間、くすりと健康すこやかフェア等、県下の薬局・薬剤師が参加可能な、県民の健康増進及び福祉の向上に資する施策を展開します。
- 9 本会及び薬局・薬剤師の活動について、会員への周知を図ることはもとより、広く県民の理解が得られるよう広報パブリシティ（報道機関への周知を含めマスメディアなどに取り上げられるような活動）の展開にも努めます。
- 10 薬学生を対象とした就職ガイダンス等の展開により、会員薬局の人材確保及び新規入会者増を促進します。

令和3年度事業体系図

〈大柱〉

〈小柱〉

公 1-1
薬学・薬業の進歩
発展に関する事業

1. かながわ薬剤師学術大会の開催
2. 日本薬剤師会学術大会等への参加・発表
3. 薬学研究への助成
4. 臨床薬学研究に関する倫理審査
5. 薬学生育成に関する事業
6. 新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

公 1-2
児童・生徒等に
関する事業

1. 学校環境衛生管理事業
2. 薬物乱用防止啓発事業の支援
3. 医薬品適正使用教室の推進
4. 学校保健向上事業

公 1-3
医薬品適正使用に
関する事業

1. くすりと健康すこやかフェアの開催
2. 薬と健康の週間事業の支援
3. 医薬品適正使用関連事業の推進
4. セルフメディケーションの推進
5. くすりと健康相談薬局の推進
6. 薬事情報センターの充実

公 1-4
医療安全に関する
事業

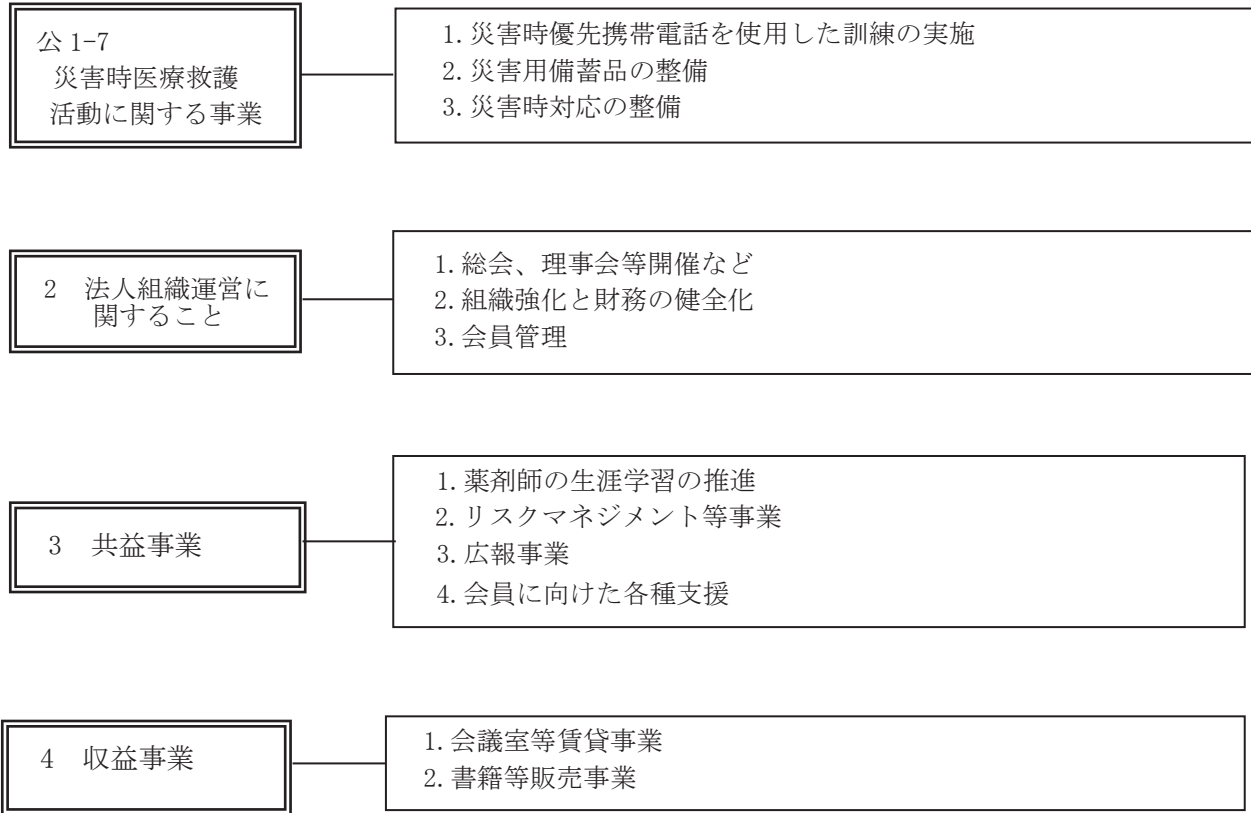
1. 神奈川県医療安全推進セミナーへの参画
2. 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業
3. 多重受診防止対策及び偽造処方箋対策の推進
4. 高度管理医療機器等継続研修会の開催
5. 薬害関連資料収集検討

公 1-5
公衆衛生に関する
事業

1. 献血事業への協力、推進
2. 薬物乱用防止の啓発
3. 公衆衛生向上事業
4. かながわ健康財団等事業への参画

公 1-6
地域医療に関する
事業

1. 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進
2. 薬・薬連携の強化と相互の資質向上
3. 後発医薬品の使用促進
4. 医薬分業の質的向上
5. 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援
6. 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実
7. 健康サポート機能向上に関する事業の推進



令和3年度 神奈川県薬剤師会 各種委員会委員一覧

令和4年3月31日現在

名 称	担当副会長	担当専務・ 常務理事	担当理事	委 員 (◎委員長 ○副委員長)				担当課
組織会員	後藤 知良 長津 雅則	竹内 尚子 寺師三千彦	坂本 悟 泉 紀久恵	北川 尚代 ◎市川 浩 ○金林 茂 日向 彰	関水 康成 福岡 真 岡田 恒雄	櫻井 啓祐 菅野 宏一 熊井 佳子	荒澤 実 馬瀬 大介 田村 英樹	管理課
広報	後藤 知良 橋本 真也	塚本 久美 久保田充明	石渡 宏衛 大岡 元	大島 幸徳 藤田 大輔	○中里 裕之 吉川 武寿	持田 雄也	◎澤田 寛之	管理課
薬壺編集	後藤 知良	塚本 久美 伊藤 啓	森井 広樹 大岡 元	吉川 武寿 菅野 浩	○浅野 日まりこ	◎関根 澄江	飯田 京子	管理課
生涯学習	橋本 真也	竹内 尚子 久保田充明	阿部 正隆 福岡 仁	木村 太二 鈴木 良雄 三溝 和男 熊谷圭二郎	◎三澤 喜彦 ○柿沼 貞之 杉崎 薫	高橋 葉月 飯塚 徹二 吉山 友二	友田 健 小泉 直也 山村 重雄	事業課
医療・介護保険	長津 雅則	佐藤 克哉	阿部 正隆 夏目 善文 福岡 仁	梶谷 浩義 宮本 祐亮 露木 聡史 江島慎太郎	○川村 幸久 野田和多流 亀山 俊 ◎藤本 直樹	河野 一規 今井 良紀 松崎 裕子	林 三浦 ○小林 弘忠	事業課
公衆衛生・学薬	後藤 知良	伊藤 啓 佐藤 克哉	唐澤 淳子 石渡 宏衛 金子 弘之 八鍬 幸	永田 浩美 ◎和田 野歩 小泉 貴子 伊藤 一	濱地 優作 ○水野 秀典 関根 寿樹 藤原正一郎	○油谷 由美 青木 紀恵 大澤佳奈子	芝坂 洋子 神原 大輔 滝澤 聖一	事業課
地域保健	長津 雅則	佐藤 克哉 塚本 久美	唐澤 淳子 夏目 善文	丸岡 沙織 宇井 敬 市川 和子	田中 大嗣 鷺山 毅 樋島 学	○林 直子 ◎大島 崇弘	○堀川 壽代 鈴木 大介	事業課
リスク マネジメント	後藤 知良	伊藤 啓 佐藤 克哉	泉 紀久恵 森井 広樹 大岡 元	野村 清司 星野 高志 ○村上 和宜 太田美智子	◎石井 泰彦 大貫 ミチ 白井 友章 芦塚 拓也	白子 順一 篠田 豪 小川 亮子	金 泰烈 新田 淳史 三堀賢太郎	事業課
倫理研修	橋本 真也	竹内 尚子	山形 光正 菅野 君子 金子 弘之	◎斉藤 美月 小橋 紀子	村山 慶矩	○安藤 典幸	滝川 亜弥	管理課
学術大会実行	後藤 知良	竹内 尚子 寺師三千彦	山形 光正 菅野 真介	勢登 祐志 ○齋藤 邦夫	河野 光希 渡邊 千括	◎中村 正樹	鈴木 康生	事業課
実務実習	橋本 真也 長津 雅則	久保田充明	坂本 悟 加藤 真介	加藤 孝平 石黒 哲夫 上田 知弘 難波 昭雄	石川 弓子 芦刈 典子 駒井 元彦 婦川 貴博	矢野 裕一 寺杣 智子 廣原 正宜 須田 哲史	河野 和宏 ◎片山 周也 日下部吉男 ○木村久美子	事業課
くすりと健康相談 薬局運営協議会	後藤 知良 橋本 真也 長津 雅則	竹内 尚子 全常務理事		◎福島 紀子	益山 光一	今井 澄江		事業課 管理課
代議員選挙管理	後藤 知良	竹内 尚子 寺師三千彦	八鍬 広幸	吉原 睦子 岡野 克樹 ◎井上 哲男	鈴木 康久 中村 朋子 渡邊 浩一	○越田 良仁 小林きぬ子 阿武野晴美	山田 修 石内 正佳	管理課
総会議事運営	後藤 知良	竹内 尚子 寺師三千彦	八鍬 広幸	福司山倫弘 澤田 弘之 石井 豊	○松原 幸三 鈴木 康生 渡邊 幸一	星野 高志 ◎鈴木 大介 定村 洋士	大貫 ミチ 高橋 善彦	管理課
役員選挙管理	後藤 知良	竹内 尚子 寺師三千彦	八鍬 広幸	石川 弓子 岡野 克樹 井上 哲男	鈴木 康久 中村 朋子 渡邊 浩一	◎越田 良仁 小林きぬ子 清水 直	山田 修 ○今井 和成	管理課
新しい薬局・薬剤師のあ り方検討WG	後藤 知良	◎佐藤 克哉 久保田充明 塚本 久美		玉田 慎二	秋葉 保次			事業課 管理課

敬称略

